

委託業務特記仕様書（令和7年5月1日以降適用）

（共通仕様書の適用）

- 第1条** 本業務は、「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に基づき実施しなければならない。なお、これらに定めのないもので、港湾設計・測量・調査等業務にあつては「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書（国土交通省港湾局）」に基づき実施しなければならない。
- 2 ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

（共通仕様書の変更・追加事項）

- 第2条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に対する【変更】及び【追加】仕様事項は、次のホームページに掲載の「委託業務共通仕様書（変更・追加事項）」のとおりとする。なお、入札公告日又は指名通知日における最新のものを適用するものとする。

委託業務共通仕様書について

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009033100099>

（共通仕様書の読み替え）

- 第3条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」において、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木事業設計業務編】」とあるのは「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木設計等業務編】」と、読み替えるものとする。

（成績評定の選択制（試行））

- 第4条** 当初業務委託料（税込み）が100万円を超え500万円未満及び、変更契約で業務委託料が100万円を超えた土木工事に係る測量、設計、試験及び調査の委託業務（建物調査、不動産鑑定、除草、現場施工管理等の委託業務は除く）は、別に定める「委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領」を適用する。
- 2 前項の対象業務の受注者は、契約時、評定の実施の意向について、「委託業務（土木）成績評定に関する意向確認書」を発注者契約担当に提出しなければならない。
- 3 履行途中の評定の意向変更は原則認めないこととする。ただし、成績評定を希望した場合において、完了時、変更契約により業務委託料（税込み）が100万円以下となった場合は、評定は行わないものとする。

委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215929/>

（受発注者共同による品質確保）

- 第5条** 重要構造物（橋梁、トンネル、樋門、砂防等）設計や、補修設計において、必要であると判断された場合は、情報共有（設計条件の留意点、関連業務の進捗状況、設計変更の提案等）・設計方針の確認を目的とした、合同現地踏査等の発注者、受注者（測量、地質、調査、設計）で設計条件・方針を確認できる場を設けることができるものとする。
- なお、費用及び参加者等の詳細については、監督員と協議の上、決定するものとする。

（業務箇所への遠隔臨場【受注者希望型】）

- 第6条** 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「遠隔臨場（受注者希望型）」の対象業務であり、別に定める「委託業務における遠隔臨場に関する実施要領」を適用する。
- 2 受注者は、遠隔臨場の実施を希望する場合は、業務着手時の打合せにおいて発注者と協議し、実施を決定す

るものとする。

委託業務における遠隔臨場に関する実施要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215928/>

（情報共有システム活用業務【受注者希望型】）

第7条 受注者は、情報共有システム（以下「システム」という。）の活用を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、システム活用の試行対象業務（以下、「対象業務」という）とすることができる。

2 対象業務は、次のURLにある「情報共有システム活用試行要領について」を適用することとする。

情報共有システム活用試行要領

徳島県CALS/EC <https://e-denshinyusatsu.pref.tokushima.lg.jp/cals/category/download/jyouhoukyouyuu/>

調査要領

1 委託業務の目的

この調査は、吉野川県土整備事務所における土木工事に用いる資材の実勢価格を決定するための基礎価格を得ることを目的とする。

2 調査品目

別添の調査資材一覧表のとおりとする。

3 成果品の報告

報告様式等

提出部数は報告書3部とする。

調査資料一覧

No.	図面 番号	品 目	規格・寸法等	単位	数量	会社指定 の有・無	会社名
1		鋼製ブラケット	(1) 型式 SM400A (2) 寸法 W1100×D222×H550	基	2	無	
2		水平力分担構造	<ul style="list-style-type: none"> ・上部工鋼製ブラケット (1) 型式・寸法・個数 図面、数量参照 ・鋼製架台 (1) 型式・寸法・個数 図面、数量参照 ・PRF緩衝ピン (1) 型式・寸法・個数 図面、数量参照 	基	4	無	
3		気象観測装置	<ul style="list-style-type: none"> ・データロガー (1) 入力 各発信機からの出力信号 (2) 出力 LAN(1ポート)、雨量を除く測定項目(0~5DVC)、雨量(パルス) ・データ処理装置及びソフトウェア (1) 構成 既設架台に組込み、データ処理ソフトをインストールし、データロガーとLAN接続でデータ収集の上閲覧 (2) データ収集 風向・風速・気温・湿度・雨量・気圧・積雪・蒸発量 ・収納ラック (1) 構造 19インチキャビネットラック (2) 外形寸法 W570×D630×H2050mm程度 	台	1	無	
4		気温・湿度計	<ul style="list-style-type: none"> ・温度計 (1) 検出方法 白金測温抵抗体方式 (2) 規格 JIS A級 ・湿度計 (1) 検出方法 静電容量方式 	台	1	無	
5		雨量計	(1) 検出方法 転倒ます式	台	1	無	
6		気圧計	(1) 検出方法 シリコン静電容量型3センサー方式 (2) 規格 300~1100hPa(気象測器検定測定範囲:870~1050hPa)	台	1	無	
7		積雪計	(1) 検出方式 レーザー光位相差計測方式	台	1	無	
8		蒸発量計	(1) 検出方式 蒸発による水面の下降をフロートにより水位検出する方式 (2) 規格 タライ口径φ1200mm	台	1	無	

納入場所	別添仕様書のとおり		
前回調査の有無	無	有の場合	令和 年 月 日
備考	※現地着単価とする。		

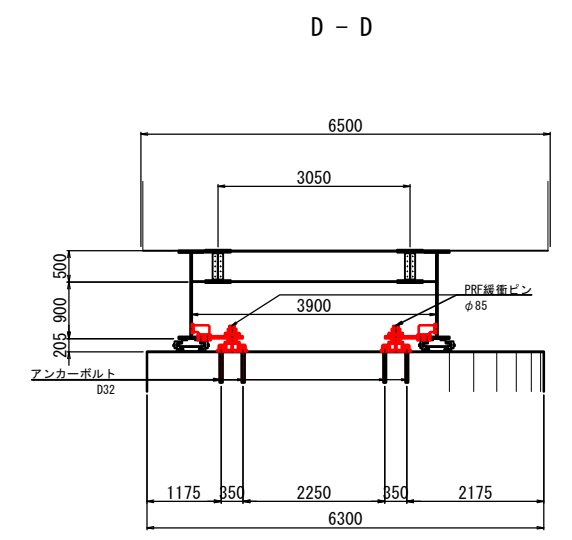
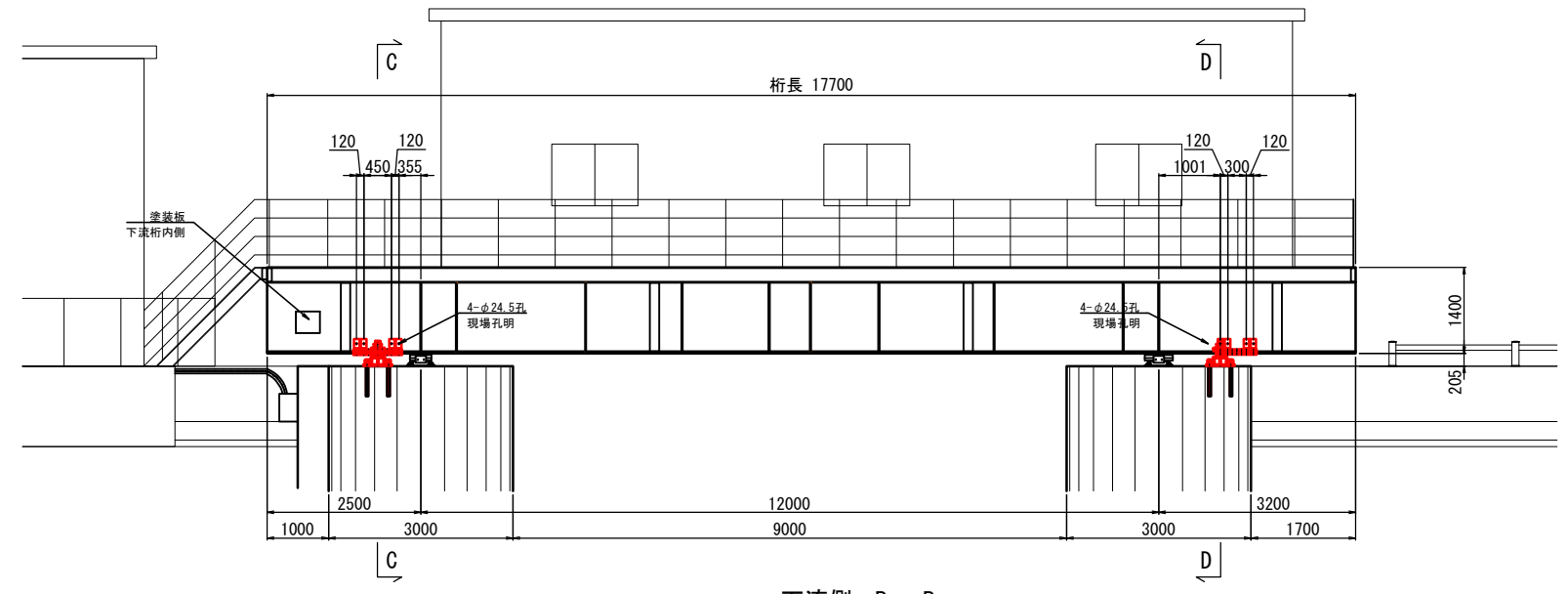
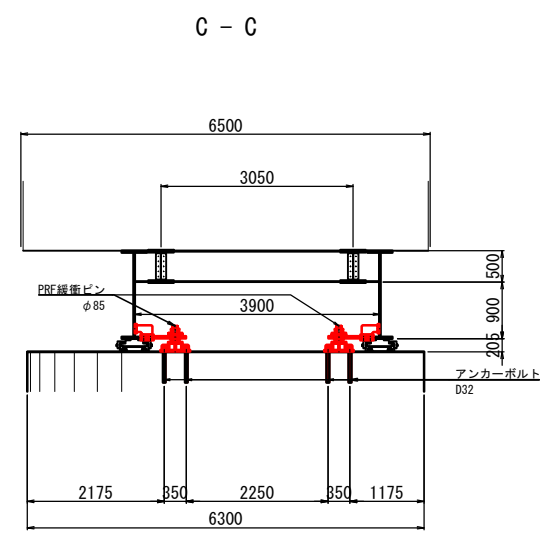
1.鋼製ブラケット

2.水平力分担構造

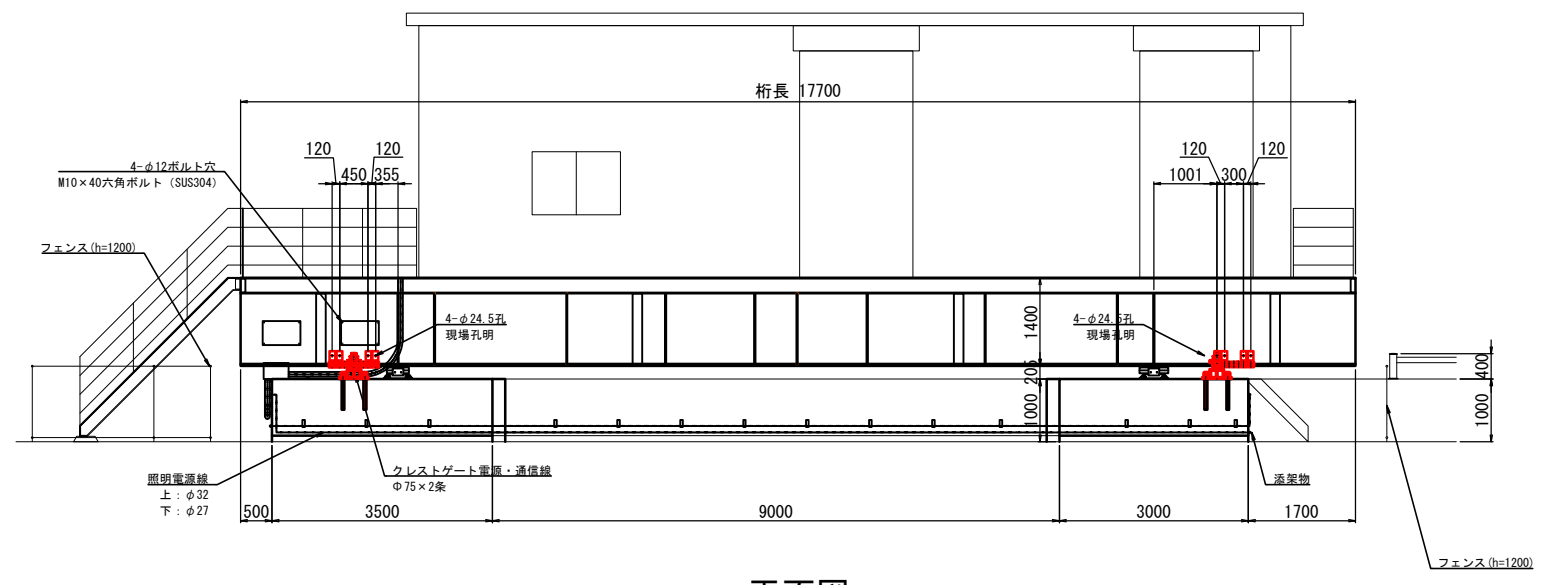
宮川内ダム 水平力分担構造図(その1)

S=1:60

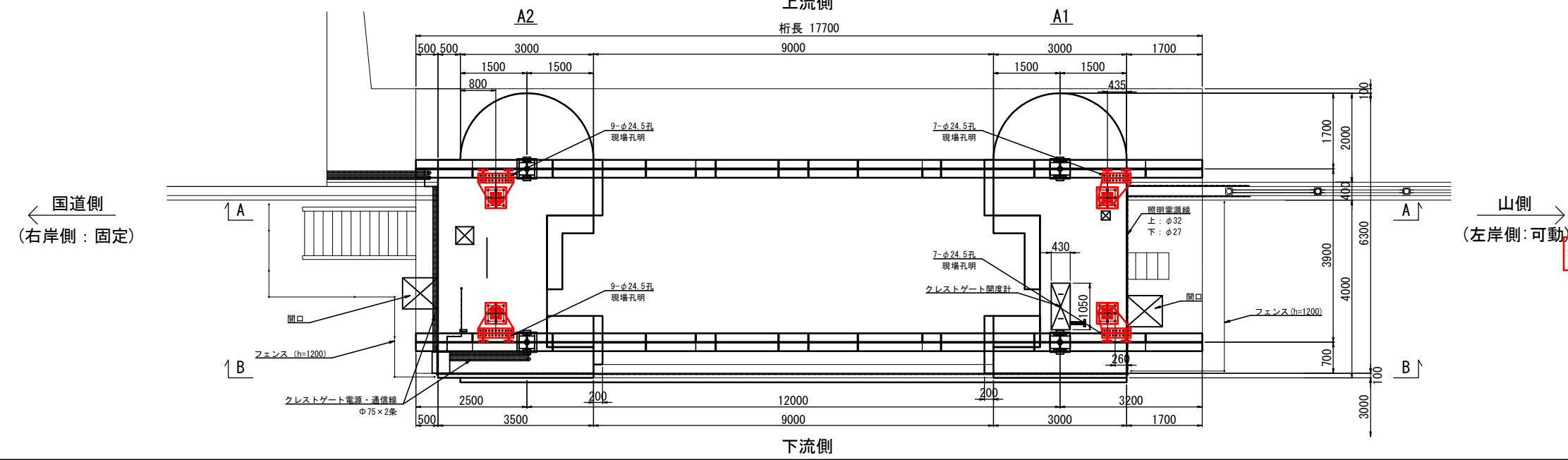
側面図 S=1:60
上流側 A-A



下流側 B-B



平面図 S=1:60
上流側



← 国道側
(右岸側: 固定)

→ 山側
(左岸側: 可動)

参考図

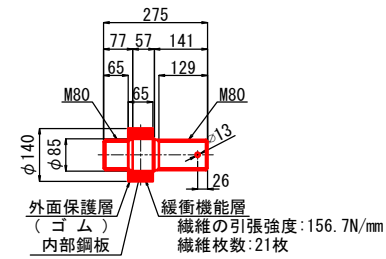
工事名	
路線名等	
工事箇所	宮川内ダム
図面名	水平力分担構造図(その1)
縮尺	図示 図面番号 2
会社名	
事業者名	徳島県 吉野川県土整備事務所

宮川内ダム 水平力分担構造図(その4)

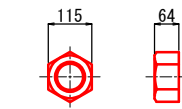
S=1:10

PRF緩衝ピン詳細図

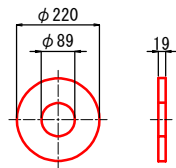
1基あたり(製作数:4(A1橋台:2, A2橋台:2))



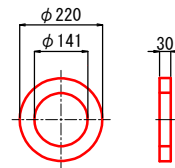
※1-PRF緩衝ピン φ85×275L(S45CN)



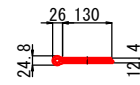
※1-ナット(一種) M80 (SS400)



※1-ワッシャー φ220(φ89)×19t(SS400)

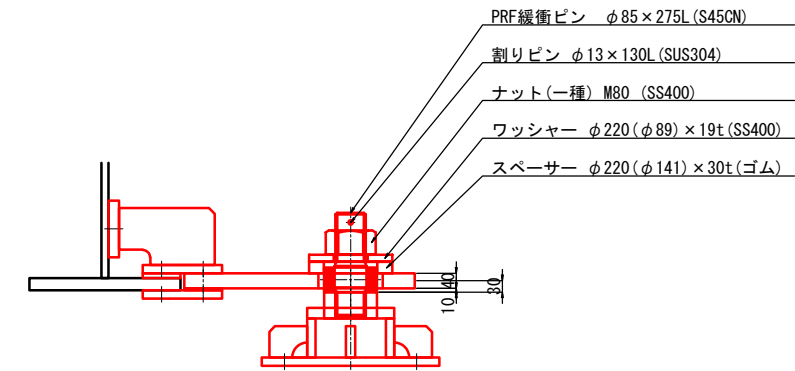


1-スペーサー φ220(φ141)×30t(ゴム)

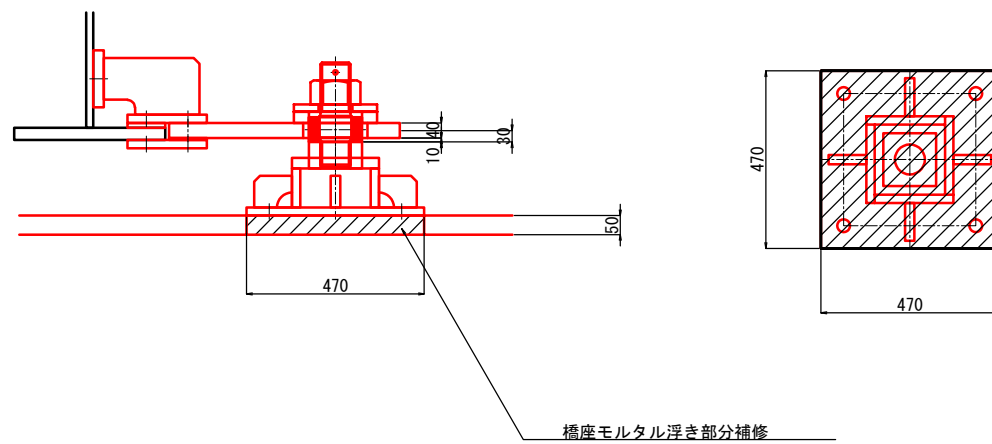


1-割リピン φ13×130L(SUS304)

PRF緩衝ピン取付詳細図



橋座モルタル補修図



橋座モルタル浮き部分補修

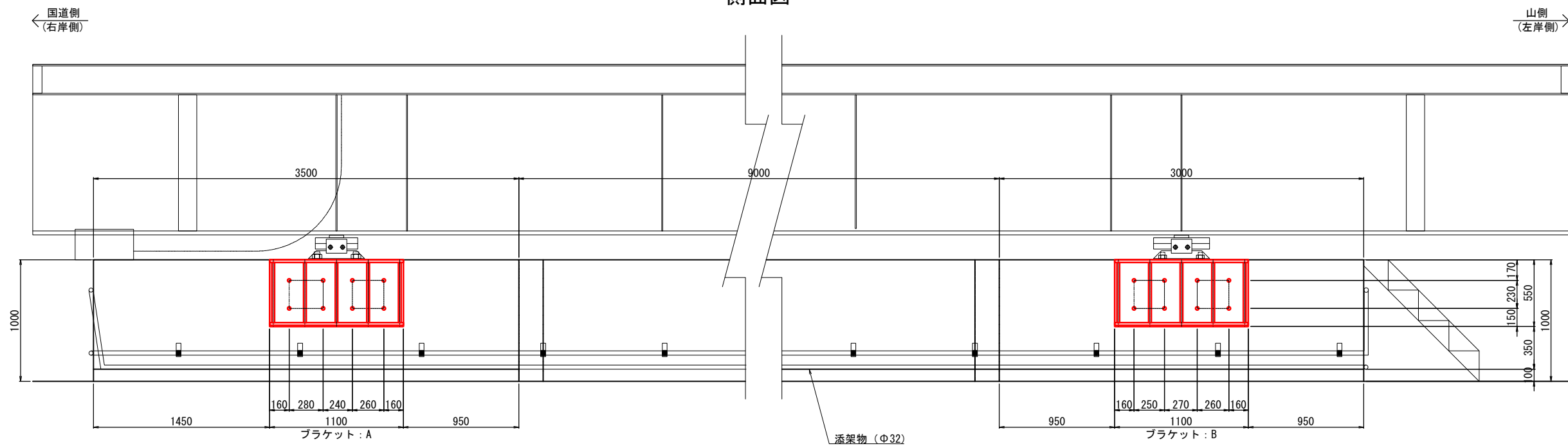
参考図

- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 2) PRF緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 3) PRF緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 4) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- 5) PRF緩衝ピン類は、※印の部材に溶融亜鉛めっきを施すものとし、膜厚はHDZT49とする。
- 6) 橋座面の浮きは現地状況に応じて補修すること。

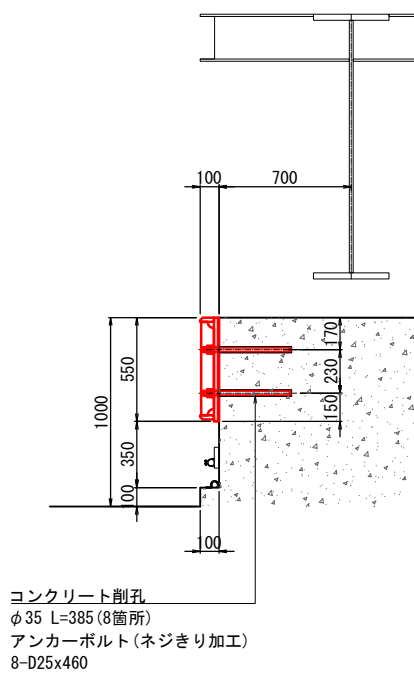
工事名	
路線名等	
工事箇所	宮川内ダム
図面名	水平力分担構造図(その4)
縮尺	図示 図面番号 5
会社名	
事業者名	徳島県 吉野川県土整備事務所

宮川内ダム 鋼製ブラケット設置工図(その1) S=1:20

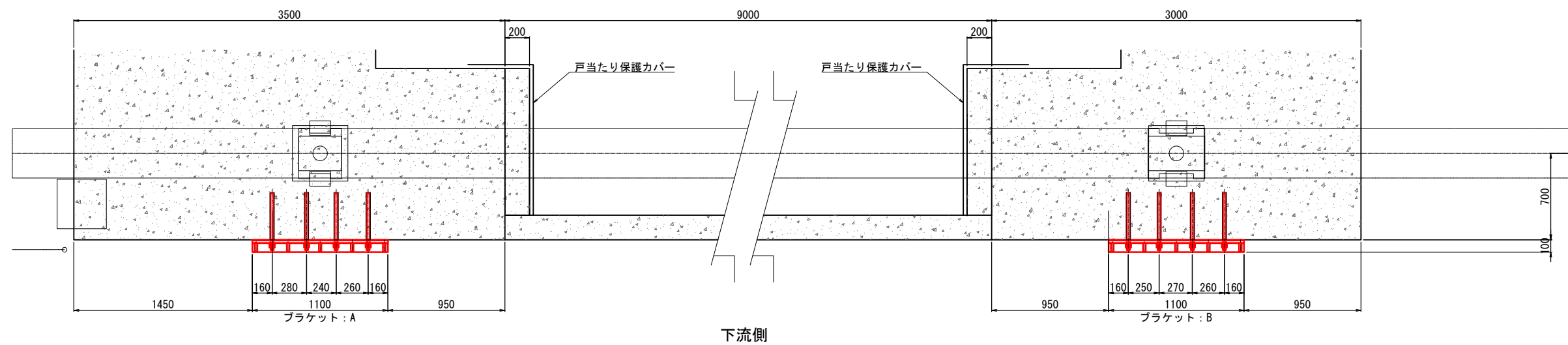
側面図



断面図



平面図

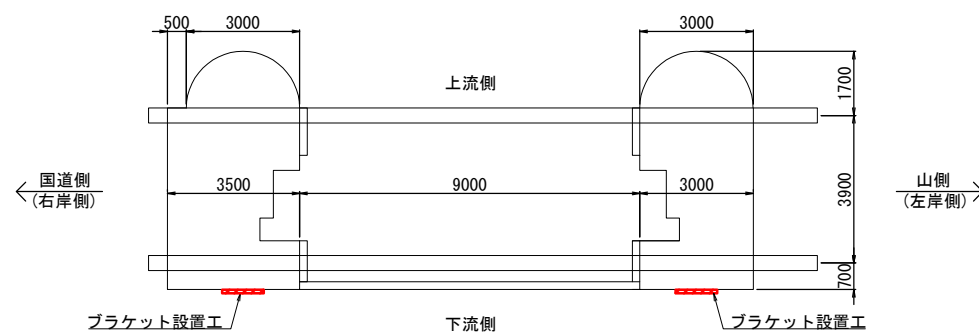


鋼製ブラケット設置工

(1橋当たり)

名称	仕様・寸法	単位	数量	備考
鋼製ブラケット	SM400A	基	2	
		t	0.35	
鉄筋探査	横向き	m2	1.21	
コンクリート削孔	φ35 L=385	孔	16	0.014t
		m3	0.006	
アンカー工	D25x460	本	16	M24x85 ネジきり加工
	エポキシ樹脂	kg	3.60	1200kg/m3
チッピング		m2	1.21	
注入工(ブラケット背面)	エポキシ樹脂	m2	1.21	
		kg	7.26	1200kg/m3
溶融亜鉛めっき	JIS H8641 HDZT77	t	0.32	
	JIS H8641 HDZT49	t	0.03	

位置図 S=1:100



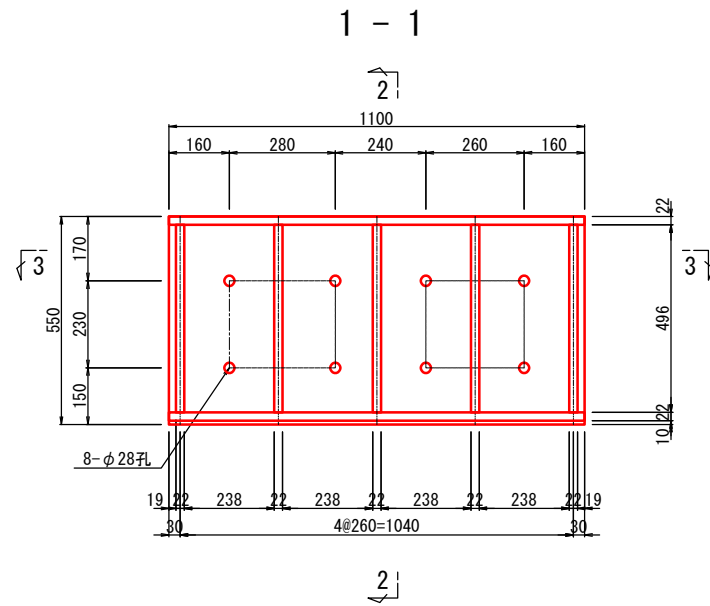
1) 本図面は、既設図面および現地計測による寸法を記載した物であり、鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じて構造上の応力計算を行うこと。

参考図

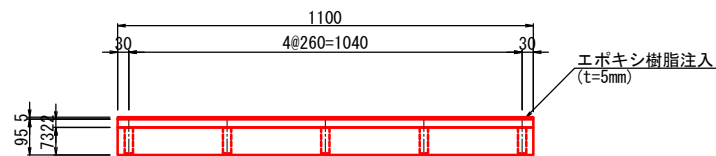
工事名	
路線名等	
工事箇所	宮川内ダム
図面名	鋼製ブラケット設置工図(その1)
縮尺	図示 図面番号 6
会社名	
事業者名	徳島県 吉野川県土整備事務所

宮川内ダム 鋼製ブラケット設置工図(その2) S=1:10 部材詳細図

鋼製ブラケット:A



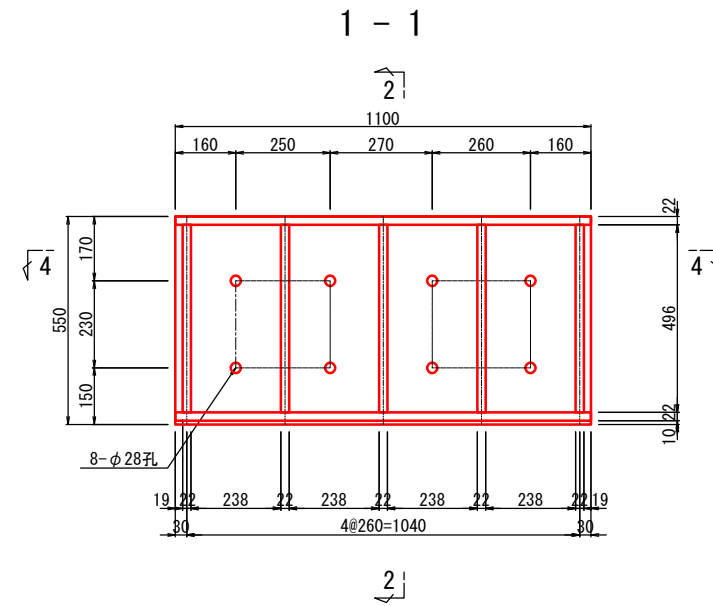
3 - 3



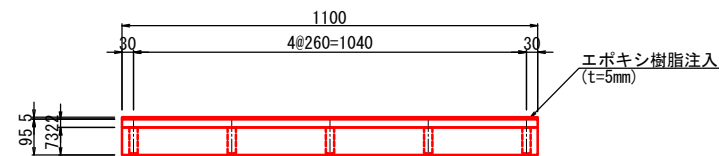
鋼製ブラケット:A

- 製作数: 1箇所当り (全1箇所)
 2-Fig. PI 1100×22×73 (Net. 93%)
 1-Base. PI 1100×22×550
 5-Rib. PI 496×22×68 (Net. 94%)
 8-Anc Bolt D25×460 (SD345)
 8-1種 Nut M24用 (SS400)
 8-3種 Nut M24用 (SS400)
 8-Washer M24用 (SS400)

鋼製ブラケット:B



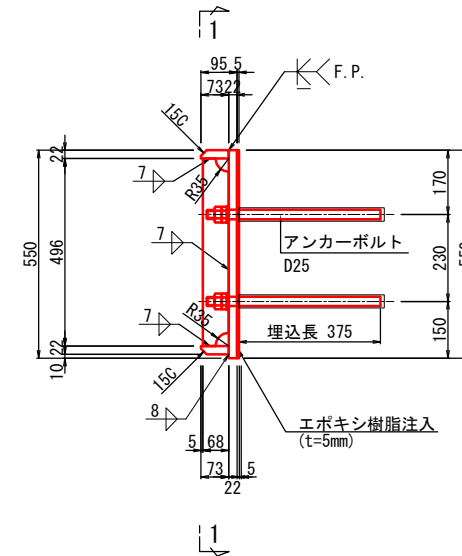
4 - 4



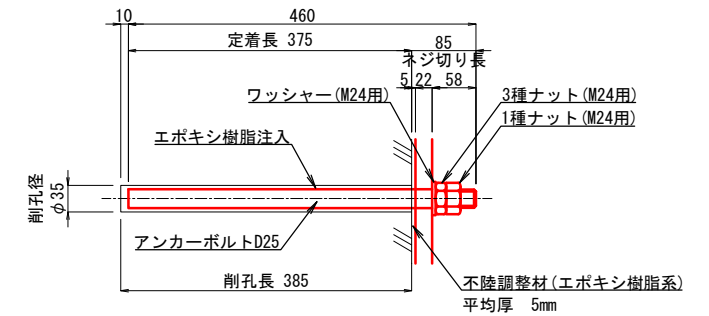
鋼製ブラケット:B

- 製作数: 1箇所当り (全1箇所)
 2-Fig. PI 1100×22×73 (Net. 93%)
 1-Base. PI 1100×22×550
 5-Rib. PI 496×22×68 (Net. 94%)
 8-Anc Bolt D25×460 (SD345)
 8-1種 Nut M24用 (SS400)
 8-3種 Nut M24用 (SS400)
 8-Washer M24用 (SS400)

2 - 2



アンカーボルト詳細図 S=1:5



アンカーボルト: 1基あたり

- 8-Anc Bolt D25×460 (SD345)
- 8-Nut M24 (1種)
- 8-Nut M24 (3種)
- 8-Washer M24用

※ 下部工ブラケット用アンカーボルトは、ネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

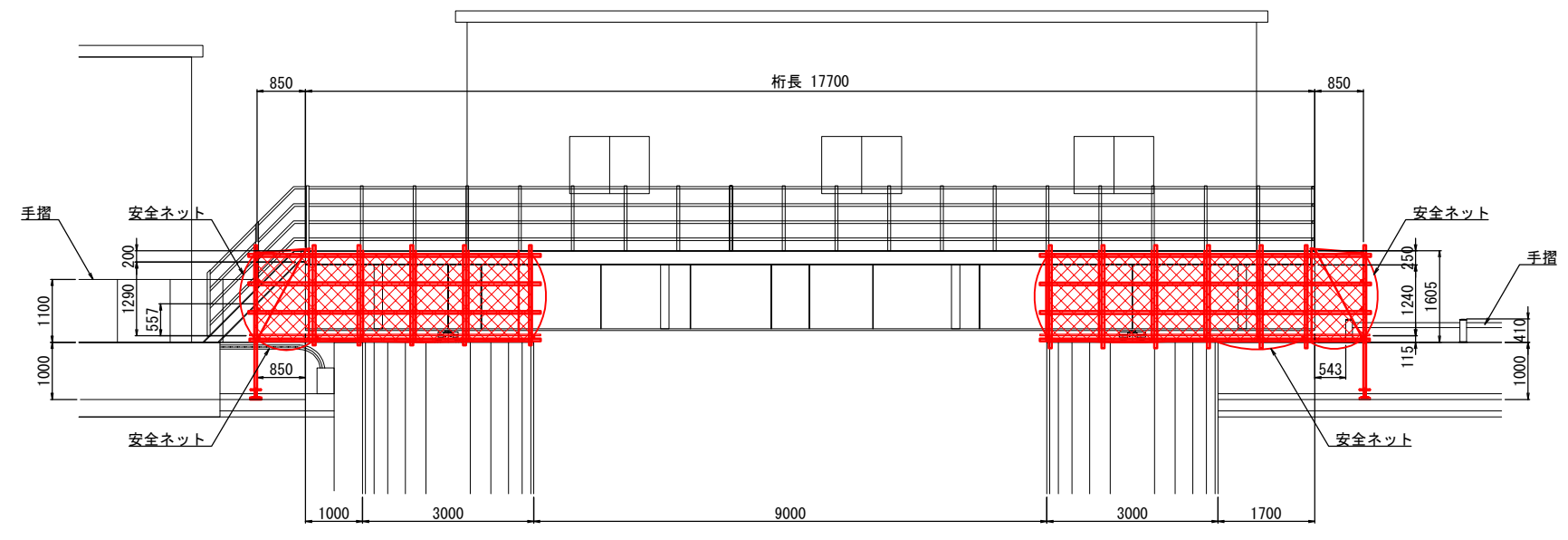
- 1) 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- 2) スカールアップは35Rとする。
- 3) 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げ (JIS H8641 HDZT49, HDZT77) とする。
- 4) アンカーボルトは、全長に渡り、溶融亜鉛めっき仕上げとする。
- 5) 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、現場実測確認のうえ行うものとする。
- 6) アンカーボルトは参考図とする。

参考図

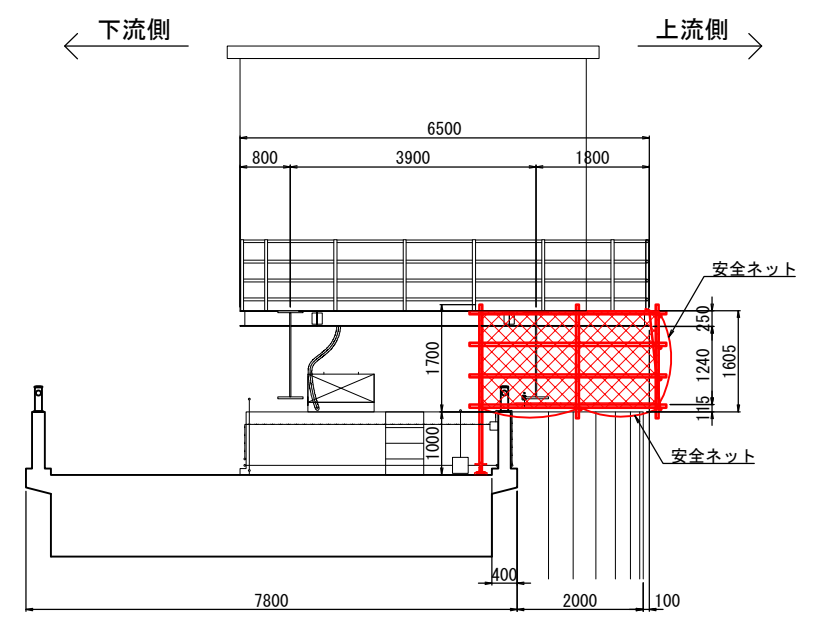
工事名	
路線名等	
工事箇所	宮川内ダム
図面名	鋼製ブラケット設置工図(その2)
縮尺	図示 図面番号 7
会社名	
事業者名	徳島県 吉野川県土整備事務所

宮川内ダム 足場工計画図(参考) S=1:60

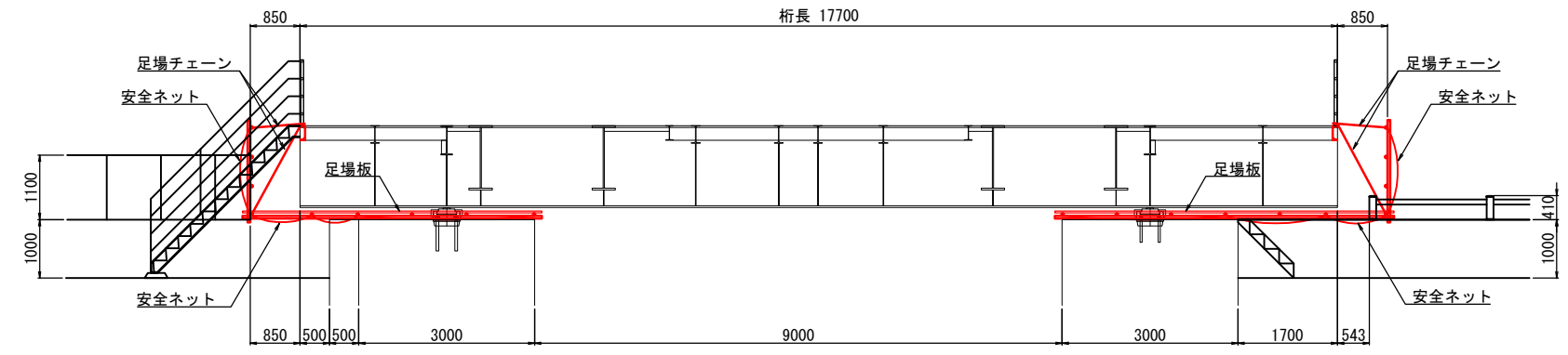
上流側 A - A



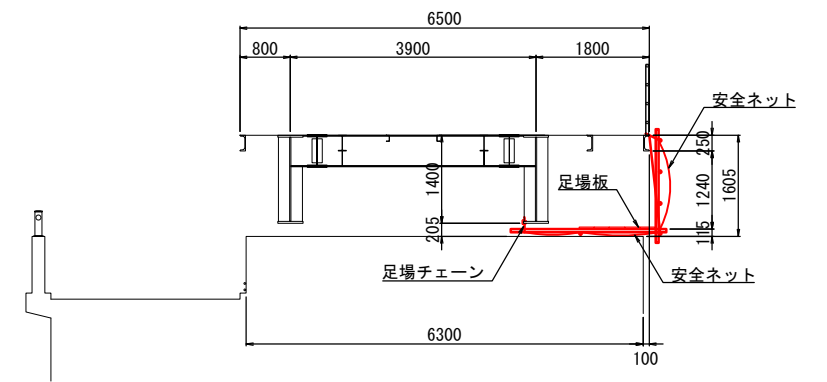
山側 C - C



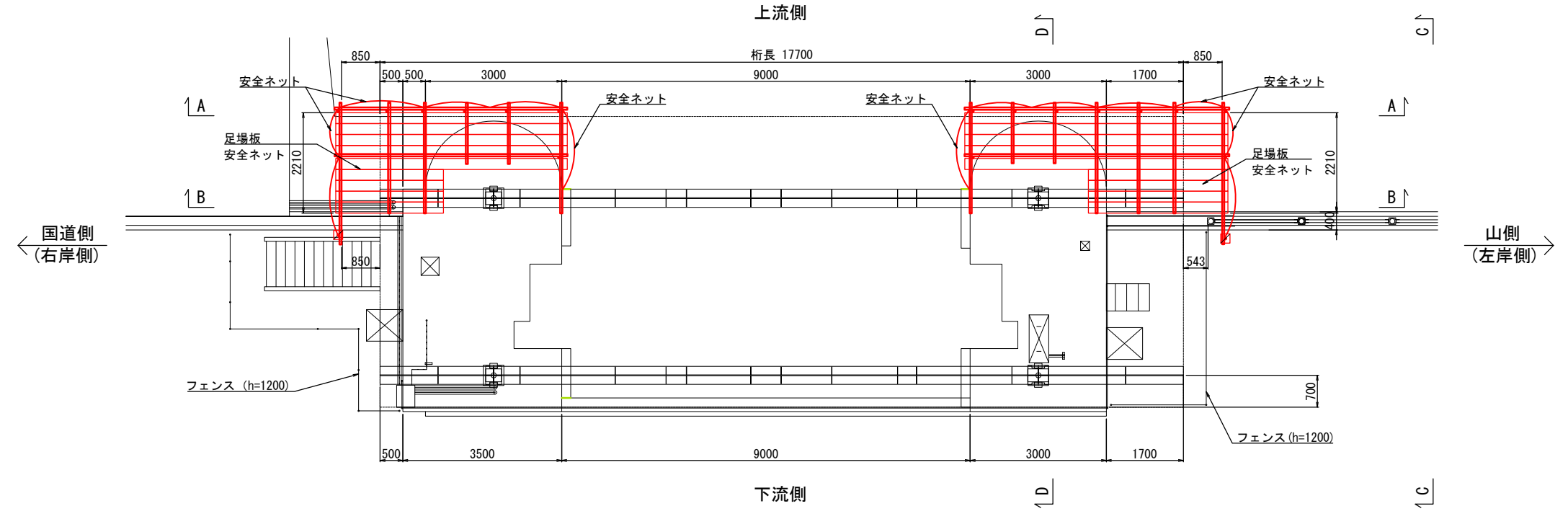
上流側 B - B



山側 D - D



平面図
上流側



参考図

工事名	
路線名等	
工事箇所	宮川内ダム
図面名	足場工計画図(参考)
縮尺	図示 図面番号 8
会社名	
事業者名	徳島県 吉野川県土整備事務所

(1) 水平力分担構造

数量総括表(宮川内ダム管理橋)

名称	規格	単位	数量			備考	
			A1橋台	A2橋台	合計		
水平力分担構造設置工		箇所	2	2	4		
取付金具工							
鋼板	SM490C	70	kg	22	22	44	
	鋼重小計		kg	22	22	44	
	(材片数)		個	(2)	(2)	(4)	
	SM490B	40	kg	154	190	344	
		28	kg	24	24	48	
	鋼重小計		kg	178	214	392	
	(材片数)		個	(4)	(4)	(8)	
	SM490A	25	kg	14	14	28	
		22	kg	106	106	212	
	鋼重小計		kg	120	120	240	
	(材片数)		個	(18)	(18)	(36)	
	SM400A	28	kg	26	26	52	
		22	kg	72	84	156	
	鋼重小計		kg	98	110	208	
	(材片数)		個	(10)	(10)	(20)	
	SS400	22	kg	46	58	104	
		13	kg	14	16	30	
		5	kg	4	6	10	
	鋼重小計		kg	64	80	144	
	(材片数)		個	(6)	(6)	(12)	
鋼重合計		kg	482	546	1,028		
(材片数合計)		個	(40)	(40)	(80)		
トルシア系高力ボルト (T.C.B)	S10T	M22 × 90	kg	6	6	12	
			本	8	8	16	
		M22 × 125	kg	20	24	44	
			本	28	36	64	
	合計		kg	26	30	56	
		本	36	44	80		
高力ボルト締付工	S10T	M22	本	36	44	80	現場施工
現場孔明工	下フランジ削孔	φ 24.5孔	箇所	14	18	32	
	ウェブ削孔	φ 24.5孔	箇所	8	8	16	
	合計		箇所	22	26	48	
アンカーボルト	SD345	D32 × 570L	本	8	8	16	
			kg	30	30	60	
ナット(アンカー用)	SS400	M30 (1種)	個	8	8	16	
			kg	2	2	4	
	M30 (3種)	個	8	8	16		
		kg	2	2	4		
ワッシャー(アンカー用)	SS400	M30	個	8	8	16	
			kg	2	2	4	
素地調整工(芯出し面積)	主桁下フランジ側		m ²	0.256	0.316	0.572	
	主桁ウェブ側		m ²	0.120	0.120	0.240	
アンカー筋削孔	φ 42	× 490L	本	8	8	16	
			m	3.920	3.920	7.840	
樹脂系接着剤	エポキシ樹脂系(比重1.2)		kg	2.820	2.820	5.640	
鉄筋探査			m ²	0.650	0.650	1.300	
樹脂パテ材	(比重1.7)		kg	3.760	3.760	7.520	
シール材			m ³	0.01	0.01	0.02	
コンクリートカッター	橋座モルタル		m	3.76	3.76	7.52	
ポリマーセメントモルタル			m ³	0.03	0.03	0.06	
下地処理	チッピング		m ²	0.45	0.45	0.90	
PRF緩衝ピン工							
PRF緩衝ピン	S45CN	φ 85 × 275	本	2	2	4	
ナット	SS400	M80 (1種)	個	2	2	4	
ワッシャー	SS400	φ 220 × 19t	枚	2	2	4	
スペーサー	ゴム	φ 220 × 30t	枚	2	2	4	
割りピン	SUS304	φ 13.0 × 130	本	2	2	4	
塗装工							
工場塗装(C-5)	素地調整		m ²	3.115	3.717	6.832	ブラスト処理
	防食処理		m ²	3.115	3.717	6.832	無機ジンクリッチペイント
	ミストコート		m ²	1.031	1.201	2.232	エポキシ樹脂塗料下塗
	下塗		m ²	1.031	1.201	2.232	エポキシ樹脂塗料下塗
	中塗		m ²	1.031	1.201	2.232	ふっ素樹脂塗料中塗
	上塗		m ²	1.031	1.201	2.232	ふっ素樹脂塗料上塗
現場塗装(F-11)	素地調整		m ²	0.840	1.006	1.846	動力工具処理
	ミストコート		m ²	0.840	1.006	1.846	変性エポキシ樹脂塗料下塗
	下塗(2回)		m ²	0.840	1.006	1.846	超厚膜形エポキシ樹脂塗料
	中塗		m ²	0.840	1.006	1.846	ふっ素樹脂塗料中塗
	上塗		m ²	0.840	1.006	1.846	ふっ素樹脂塗料上塗
溶融亜鉛めっき工							
溶融亜鉛めっき	HDZT77		kg	166	166	332	上部エブラケット,下部エブラケット
	HDZT49		kg	10	10	20	ボルト類

使用箇所	形 状		長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要		
1. A1橋台 数量計算										
(1)鋼材重量										
上部工取付金具			鋼種 : SM490							
			設置数 = 2 基							
Top	PL	640 × 40	610	1	201.0	77	SM490B	N=63		
					小計	154				
主桁補強材			鋼種 : SM400							
			設置数 = 2 基							
Spl	PL	210 × 22	640	1	36.3	23	SM400A			
Base	PL	150 × 28	200	2	33.0	13	SM400A			
Rib	PL	150 × 22	252.5	2	25.9	13	SM400A			
トルシア形高力ボルト			TCB M22(2W)		90	4	0.687	3	S10T	2W
トルシア形高力ボルト			TCB M22		125	14	0.688	10	S10T	
					小計	124				
フィラープレート			鋼種 : SS400							
TYPE-1			設置数 = 2 基							
Fill	PL	100 × 13	640	1	10.2	7	SS400			
TYPE-2			設置数 = 2 基							
Fill	PL	100 × 5	640	1	3.9	2	SS400			
					小計	18				
添接板			鋼種 : SS400							
			設置数 = 2 基							
Spl	PL	210 × 22	640	1	36.3	23	SS400			
					小計	46				

使用箇所	形 状		長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要
鋼製架台	鋼種 : SM490							
	設置数 = 2 基							
Base	PL	470 × 22	470	1	81.2	38	SM490A	
	PL	103 × 22	208	4	17.8	15	SM490A	
Rib	PL	83 × 25	100	4	16.3	7	SM490A	
Base	PL	230 × 28	230	1	50.6	12	SM490B	
	PL	140 × 70	140	1	76.9	11	SM490C	(M80めねじ加工)
	アンカーボルト	D32 × 570		4	3.6	15	SD345	
	ナット1種	M30		4	0.232	1	SS400	
	ナット3種	M30		4	0.178	1	SS400	
	ワッシャー	M30		4	0.058	1	SS400	
					小計	202		

使用箇所	形 状	長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要
鋼材集計							
	鋼材重量	t=70			22	SM490C	
		t=40			154	SM490B	
		t=28			24	SM490B	
		t=25			14	SM490A	
		t=22			106	SM490A	
		t=28			26	SM400A	
		t=22			72	SM400A	
		t=22			46	SS400	
		t=13			14	SS400	
		t=5			4	SS400	
					合計	482	kg
	TCB M22(2W) × 90				6	kg	2W
	TCB M22(2W) × 90				8	本	
	TCB M22 × 125				20	kg	
	TCB M22 × 125				28	本	
	アンカーボルト	D32 × 570			8	本	SD345
					30	kg	SD345
	ナット1種	M30			8	個	SS400
					2	kg	SS400
	ナット3種	M30			8	個	SS400
					2	kg	SS400
	ワッシャー	M30			8	個	SS400
					2	kg	SS400
(2)PRF緩衝ピン工							
	PRF緩衝ピン	φ85 × 275			2	本	S45CN
	ナット	M80 (1種)			2	個	SS400
	ワッシャー	φ220 t=19			2	枚	SS400
	スペーサー	φ220 t=30			2	枚	ゴム
	割ピン	φ13 × 130			2	本	SUS304
(3)塗装工							
工場塗装(C-5) (プラスト処理・防食下地)							
	A=	0.984	+	1.081	+	1.05	= 3.115 m ²
工場塗装(C-5) (ミストコート・下塗・中塗・上塗)							
	A=	0.728	+	0.303			= 1.031 m ²
現場塗装(F-11) (素地調整・ミストコート・下塗・中塗・上塗)							
	A=	0.389	+	0.269	+	0.182	= 0.840 m ²
(4)溶融亜鉛めっき工							
溶融亜鉛めっき	鋼材重量合計より				166	kg	HDZT77
溶融亜鉛めっき	鋼材重量合計より				10	kg	HDZT49

塗装面積算出

A1橋台

名 称	形状 (mm)		枚数	面	面積(m ²)	備考 (NET)	摘要
	幅	長さ					
上部工取付金具							
Top-PL	640	610	2	2	0.984	63%	
				計	0.984		
主桁補強材							
Spl-PL	210	640	2	2	0.538	100%	
Base-PL	150	200	4	2	0.240	100%	
Rib-PL	150	252.5	4	2	0.303	100%	
				計	1.081		
フィルタープレート							
TYPE-1							
Fill-PL	100	640	2	2	0.256	100%	
TYPE-2							
Fill-PL	100	640	2	2	0.256	100%	
添接板							
Spl-PL	210	640	2	2	0.538	100%	
				計	1.050		
				計	3.115		

C-5

工
場
塗
装プラスチック
処理・防食
下地

種 別	計 算 式	単 位	数 量
2. A1橋台 その他部材 数量計算			
現場孔明工			
下フランジ削孔			
	$\phi 24.5 \quad 7 \times 2 = 14$	箇所	14
ウェブ削孔			
	$\phi 24.5 \quad 4 \times 2 = 8$	箇所	8
	現場孔明工合計	箇所	22
素地調整工(芯出し面積)			
	主桁下フランジ側		
	$0.100 \times 0.640 \times 2 \times 2 = 0.256$	m ²	0.256
	主桁ウェブ側		
	$0.150 \times 0.200 \times 2 \times 2 = 0.120$	m ²	0.120
アンカー筋削孔			
	$\phi 42 \times 490 \quad 4本 \times 2 = 8$	本	8
	$0.490 \quad 4本 \times 2 = 3.92$	m	3.92
樹脂接着剤(鉄筋定着)			
	$(0.042^2 \times \pi / 4 \times 0.490 - 0.032^2 \times \pi / 4 \times 0.480) \times 8$		
	$\times 1,200 = 2.811$	kg	2.82
			(1本あたり:0.351kg)
鉄筋探査			
	※鉄筋探査の範囲は、鋼製架台から+50mmの範囲で計上		
	$0.570 \times 0.570 \times 2 = 0.650$	m ²	0.650
樹脂パテ材(比重1.7 厚みt=5mm)			
	$0.470 \times 0.470 \times 0.005 \times 1700 \times 2 = 3.755$	kg	3.760
シール材(シリコン系)			
	$(0.470 + 0.470) \times 2 \times 2 = 3.760$		
	$0.020 \times 0.020 \times 1/2 \times 3.760$		
	$= 0.001$	m ³	0.01
コンクリートカッター(橋座モルタル)			
	$(0.470 + 0.470) \times 2 \times 2 = 3.760$	m	3.76
ポリマーセメントモルタル(厚みt=50mm)			
	$(0.470 \times 0.470) \times 0.05 \times 2 = 0.022$	m ³	0.030
下地処理(チッピング)			
	$0.470 \times 0.470 \times 2 = 0.442$	m ²	0.450

使用箇所	形 状		長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要		
3. A2橋台 数量計算										
(1)鋼材重量										
上部工取付金具			鋼種 : SM490							
			設置数 = 2 基							
Top	PL	610 × 40	790	1	191.5	95	SM490B	N=63		
					小計	190				
主桁補強材			鋼種 : SM400							
			設置数 = 2 基							
Spl	PL	210 × 22	790	1	36.3	29	SM400A			
Base	PL	150 × 28	200	2	33.0	13	SM400A			
Rib	PL	150 × 22	252.5	2	25.9	13	SM400A			
トルシア形高力ボルト			TCB M22(2W)		90	4	0.687	3	S10T	2W
トルシア形高力ボルト			TCB M22		125	18	0.688	12	S10T	
					小計	140				
フィラープレート			鋼種 : SS400							
TYPE-1			設置数 = 2 基							
Fill	PL	100 × 13	790	1	10.2	8	SS400			
TYPE-2			設置数 = 2 基							
Fill	PL	100 × 5	790	1	3.9	3	SS400			
					小計	22				
添接板			鋼種 : SS400							
			設置数 = 2 基							
Spl	PL	210 × 22	790	1	36.3	29	SS400			
					小計	58				

使用箇所	形 状	長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要
鋼材集計							
	鋼材重量	t=70			22	SM490C	
		t=40			190	SM490B	
		t=28			24	SM490B	
		t=25			14	SM490A	
		t=22			106	SM490A	
		t=28			26	SM400A	
		t=22			84	SM400A	
		t=22			58	SS400	
		t=13			16	SS400	
		t=5			6	SS400	
					合計	546	kg
	TCB M22(2W) × 90				6	kg	2W
	TCB M22(2W) × 90				8	本	
	TCB M22 × 125				24	kg	
	TCB M22 × 125				36	本	
	アンカーボルト	D32 × 570			8	本	SD345
					30	kg	SD345
	ナット1種	M30			8	個	SS400
					2	kg	SS400
	ナット3種	M30			8	個	SS400
					2	kg	SS400
	ワッシャー	M30			8	個	SS400
					2	kg	SS400
(2)PRF緩衝ピン工							
	PRF緩衝ピン	φ85 × 275			2	本	S45CN
	ナット	M80 (1種)			2	個	SS400
	ワッシャー	φ220 t=19			2	枚	SS400
	スペーサー	φ220 t=30			2	枚	ゴム
	割ピン	φ13 × 130			2	本	SUS304
(3)塗装工							
工場塗装(C-5) (ブラスト処理・防食下地)							
	A=	1.214	+	1.207	+	1.296	= 3.717 m ²
工場塗装(C-5) (ミストコート・下塗・中塗・上塗)							
	A=	0.898	+	0.303			= 1.201 m ²
現場塗装(F-11) (素地調整・ミストコート・下塗・中塗・上塗)							
	A=	0.452	+	0.332	+	0.222	= 1.006 m ²
(4)溶融亜鉛めっき工							
溶融亜鉛めっき	鋼材重量合計より				166	kg	HDZT77
溶融亜鉛めっき	鋼材重量合計より				10	kg	HDZT49

塗装面積算出

A2橋台

名 称	形状 (mm)		枚数	面	面積(m ²)	備考 (NET)	摘要
	幅	長さ					
上部工取付金具							
Top-PL	610	790	2	2	1.214	63%	
				計	1.214		
主桁補強材							
Spl-PL	210	790	2	2	0.664	100%	
Base-PL	150	200	4	2	0.240	100%	
Rib-PL	150	252.5	4	2	0.303	100%	
				計	1.207		
フィラープレート							
TYPE-1							
Fill-PL	100	790	2	2	0.316	100%	
TYPE-2							
Fill-PL	100	790	2	2	0.316	100%	
添接板							
Spl-PL	210	790	2	2	0.664	100%	
				計	1.296		
				計	3.717		

C-5

工場塗装

ブラスト処理・防食下地

(2) 鋼製ブラケット

S1 数量総括表

鋼製ブラケット設置工

工種	名称	仕様・寸法	単位	数量	摘要
鋼製ブラケット 設置	近接調査計測工		基	2	
	鋼製ブラケット	SM400A	基	2	
			t	0.35	
	鉄筋探査	横向き	m2	1.21	
	コンクリート削孔	φ35 L=385	孔	16	
			m3	0.006	0.014t
	アンカー工	D25x460 エポキシ樹脂	本	16	M24x85 ネジきり加工
			kg	3.60	1200kg/m3
	チップング		m2	1.21	
	注入工(ブラケット背面)	エポキシ樹脂	m2	1.21	
			kg	7.26	1200kg/m3
溶融亜鉛めっき	JIS H8641 HDZT77 JIS H8641 HDZT49	t	0.32		
		t	0.03		

仮設工

工種	名称	仕様・寸法	単位	数量	摘要
足場工	吊り足場		m2	22.98	

(1) 鋼製ブラケット設置工

工種	名称	仕様・寸法	単位	数量	摘要
鋼製ブラケット 設置	近接調査計測工		基	2	
	鋼製ブラケット	SM400A	基	2	
			t	0.35	
	鉄筋探査	横向き	m ²	1.21	
	コンクリート削孔	φ35 L=385	孔	16	
			m ³	0.006	0.014t
	アンカー工	D25x460	本	16	M24x85 ネジきり加工
		エポキシ樹脂	kg	3.60	1200kg/m ³
	チッピング		m ²	1.21	
	注入工(ブラケット背面)	エポキシ樹脂	m ²	1.21	
kg			7.26	1200kg/m ³	
溶融亜鉛めっき	JIS H8641 HDZT77	t	0.32		
	JIS H8641 HDZT49	t	0.03		

1. 鋼製ブラケット設置工

1) 近接調査計測工

$$N = 2 = 2 \text{ 基}$$

2) 鋼製ブラケット

設置

$$N = 2 = 2 \text{ 基}$$

鋼材重量

①鋼板(SM400A) 7.85 (t/m³)

$$W1 = 1.100 \times 0.022 \times 0.073 \times 93\% \times 7.85 \times 2 \times 2 = 0.052 \text{ t}$$

$$W2 = 1.100 \times 0.022 \times 0.550 \times 100\% \times 7.85 \times 1 \times 2 = 0.209 \text{ t}$$

$$W3 = 0.496 \times 0.022 \times 0.068 \times 94\% \times 7.85 \times 5 \times 2 = 0.055 \text{ t}$$

$$\Sigma W1 \sim 4 = 0.316 \text{ t}$$

②ボルト類

$$\text{アンカーボルト D25x460 } W5 = 0.460 \times 0.004 \text{ (t/m)} \times 8 \times 2 = 0.029 \text{ t}$$

$$\text{M24 ナット 1種 } W6 = 0.00011 \times 8 \times 2 = 0.002 \text{ t}$$

$$\text{3種 } W7 = 0.00007 \times 8 \times 2 = 0.001 \text{ t}$$

$$\text{M24 ワッシャー } W8 = 0.00003 \times 8 \times 2 = 0.001 \text{ t}$$

$$\Sigma W5 \sim 8 = 0.033 \text{ t}$$

鋼材重量合計

$$0.316 + 0.033 \quad \Sigma W1 \sim 8 = 0.349 \text{ t}$$

3) 鉄筋探査

$$A = 1.100 \times 0.550 \times 2 = 1.210 \text{ m}^2$$

4) コンクリート削孔

φ 35 L=385

$$\begin{aligned}
 N &= 8 \times 2 & = & 16 \text{ 孔} \\
 V &= 0.035^2 \times \pi/4 \times 0.385 \times 16 & = & 0.006 \text{ m}^3 \\
 W &= 0.006 \times 2.35 \text{ t/m}^3 & = & 0.014 \text{ t}
 \end{aligned}$$

5) アンカー工

D25x460 (M24x85 ネジきり加工)

$$N = 8 \times 2 = 16 \text{ 本}$$

エポキシ樹脂

$$\begin{aligned}
 &\text{コンクリート削孔数量より} && \text{埋込長} \\
 V &= 0.006 - 0.025^2 \times \pi/4 \times 0.375 \times 16 & = & 0.003 \text{ m}^3 \\
 W &= 0.003 \times 1200 \text{ kg/m}^3 & = & 3.60 \text{ kg}
 \end{aligned}$$

6) チッピング

$$A = 1.100 \times 0.550 \times 2 = 1.210 \text{ m}^2$$

7) 注土工(ブラケット背面)

$$\begin{aligned}
 A &= 1.100 \times 0.550 \times 2 & = & 1.210 \text{ m}^2 \\
 W &= 1.210 \times 0.005 \times 1200 \text{ kg/m}^3 & = & 7.260 \text{ kg}
 \end{aligned}$$

8) 溶融亜鉛めっき

JIS H8641 HDZT77

$$\begin{array}{lcl}
 \text{ブラケット鋼板重量} & W1= & 0.316 \\
 & & = 0.316 \text{ t} \\
 \hline
 \Sigma W & = & 0.316 \text{ t}
 \end{array}$$

JIS H8641 HDZT49

$$\begin{array}{lcl}
 \text{ブラケットボルト類重量} & W1= & 0.033 \\
 & & = 0.033 \text{ t} \\
 \hline
 \Sigma W & = & 0.033 \text{ t}
 \end{array}$$

(2) 足場工

1. 数量集計表

工種	名称	規格	単位	数量	備考
足場工	吊り足場		m2	22.98	

2. 数量算出

1) 足場工

1. 吊り足場

$$A1 = (0.850 + 1.000 + 3.000) \times 2.210 = 10.72 \text{ m}^2$$

$$A2 = (0.850 + 1.700 + 3.000) \times 2.210 = 12.27 \text{ m}^2$$

$$\text{合計} = \underline{22.98 \text{ m}^2}$$

(3) リサイクル計画書

リサイクル計画書（詳細設計）

1. 設計概要

発注機関名	徳島県東部県土整備局
事業（工事）名	R6吉土 宮川内ダム 阿波・土成宮川内ダム管理施設等設計業務
事業（工事）施工場所	徳島県阿波市土成町宮川内
事業（工事）概要	ダム施設各部のうち天端橋梁（操作橋）の耐震補強設計を行う。
事業（工事）着手予定時期	

2. 建設資材利用計画

建設資材	① 利用量 (②+③+④)	② 現場内利用 可能量	③ 再生材利用 可能量	④ 新材利用量	⑤ 再生資源利用率 (②+③)/(①*100)	備考
土 砂	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
砕 石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト混合物	トン	トン	トン	トン	%	

※ 最下欄には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

副産物の種類	⑥ 発生量	⑦ 現場内 利用可能量	⑧ 他工事への 搬出可能量	⑨ 再生資源化施設 への搬出可能量	⑩ 最終処分量	⑪ 現場内利用率 ⑦/⑥*100	備考
建設 第1種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
建設 第2種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
建設 第3種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
建設 第4種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
発生 泥土（浚渫土）	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
土 合計	0.13 トン	0 トン	0 トン	0 トン	0 トン	0.0 %	
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	トン	%	
建設発生木材	トン	トン	トン	トン	トン	%	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	トン	%	

※ 建設発生土の区分（既存資料から判断するものとする）

- ① 第1種 建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの
- ② 第2種 建設発生土・・・砂質土、礫質土、礫質土及びこれらに準ずるもの
- ③ 第3種 建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの

※ 建設発生木材の中には、伐間除根材及び剪定材を含む。

※ 利用・搬出可能量は、現時点で算出可能なものを記載する。

※ 建設副産物の搬出計画について、基本的には全量を再利用することを原則として計画する。

- ④ 第4種 建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。（第3種 建設発生土を除く）
- ⑤ 泥土（浚渫土）・・・浚渫土のうち概ねqc2以下のもの。

3.気象観測装置

4.気温・湿度計

5.雨量計

6.気圧計

7.積雪計

8.蒸発量計

(仮称)
宮川内ダム
気象観測装置更新工事
特記仕様書（案）

令和〇〇年〇〇月

徳島県 県土整備部 吉野川県土整備事務所
宮川内ダム管理所

工 事 名：（仮称）宮川内ダム気象観測装置更新工事
工事場所：徳島県阿波市土成町宮川内字平間
工 期：契約の翌日から令和〇〇年〇月〇日までとする。

第1条 適 用

1. 本仕様書は、徳島県（以下「発注者」という。）が行う（仮称）宮川内ダム気象観測設備更新工事に適用する。
2. 本工事の施工にあたっては、徳島県土木工事共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）によるほか、この特記仕様書及び図面によるものとする。
3. 受注者は、設計図書に基づき実施仕様書、計算書及び詳細図を作成し、監督員の承諾を得て施工しなければならない。

第2条 低入札価格調査制度

第3条 工期設定

本工事の工期は作業期間内の雨天日（降水、降雪）、土、日曜日、祝日、夏期休暇、年末・年始休暇を見込んでいる。

第4条 工事概要

本工事は宮川内ダム管理所が管理する気象観測装置の信頼性向上を目的として、機器の更新を行うものである。

第5条 工事施工範囲

1. 本工事の施工範囲は、以下に示す設備の設計、製作、塗装、輸送、撤去、据付、試運転調整までの一切とする。本工事の製品あるいは機材の搬入路は、受注者の責任で確保し、仮設工事に伴う機材も受注者の負担とする。また、製品の搬出入に伴い取壊・撤去した構造物は、工事完了後速やかに原状復帰するものとする。
2. 請負者は本工事完成までに設備管理者に対する操作説明を行うものとし、この操作説明は本工事の工事範囲に含まれている。
3. 管理事務所内の機器収容架も更新する。ブランクパネル等の必要部材は適宜準備すること。
4. 設計図書において汎用ケーブルを使用している区間については、需給逼迫等の理由による線種の変更をしてもよい。その場合、受注者の責任において機器メーカーに適合性の確認を行うとともに、変更の内容等について事前に受発注者間で協議を行うものとする。

種 別	細 別	単位	数量	施工内容	摘 要
気象観測装置	風向風速計（支柱含む）	式	1	更新・移設	基礎設置含む
	気温・湿度計	式	1	更新	
	雨量計	式	1	更新・移設	基礎設置含む
	気圧計	式	1	更新	
	積雪計	式	1	新規設置	
	蒸発量計	式	1	新規設置	基礎設置含む
	データロガー	式	1	更新	
	FAパソコン	式	1	新規設置	

据付責任分界点は下記の通りとする。

(1) 既設機器（取付ポール、基礎コンクリートは除く）・配線撤去 本工事範囲内

(2) 基礎設置

以下は本工事範囲内とする。

- ・ 風向風速計および雨量計固定のためのコンクリート基礎設置
- ・ 上記に伴う建屋屋上防水の施工
- ・ 蒸発量計設置のためのコンクリート基礎設置

(3) 電源線および制御線の配線と端子接続

以下は本工事範囲内とする。

- ・ ダムコンを含む既設機器と対象機器までの間の配線接続

第6条 設計条件

工事期間中のダムの運用は通常通りとする。既設観測項目については、欠測期間が極力短くなるよう計画すること。

第7条 機器仕様

7-1 概要

気象観測設備を更新し、気象観測情報をデータ処理用PCで記録する。

測定項目は、風向、風速、気温、湿度、気圧、雨量、積雪深、蒸発量の8項目とし、測定データは、管理事務所内の制御記録部で記録、表示する。

なお、雨量計更新にあたって必要となる気象庁への届出書類作成は、本工事に含むものとする。

7-2 機器の構成

システム構成図を図 2.1 に、機器構成表を表 2.1 に示す。

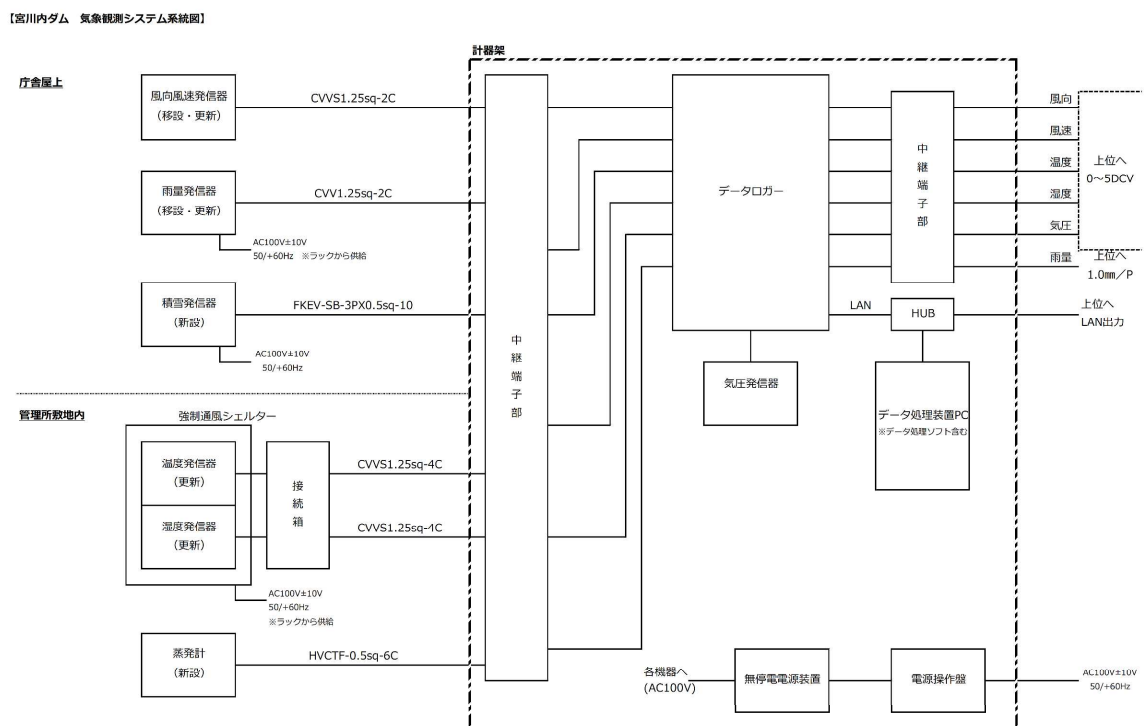


図 7.1 気象観測設備システム構成図

表 7.1 気象観測設備機器構成表

番号	名 称	数量	備 考
1	風向風速計	1	支柱・回転フランジ含む
2	気温計	1	
3	湿度計	1	
4	強制通風筒	1	取付金具含む
5	雨量計	1	
6	気圧計	1	
7	積雪計	1	
8	蒸発量計	1	
9	データロガー	1	
10	データ処理装置 (FA パソコン)	1	液晶ディスプレイ データ処理ソフト含む
11	収納ラック	1	入出力・電源端子台等含む

7-3 機器仕様

本装置は気象業務法の規定に基づく気象庁測器検定品とする（ただし、蒸発量計を除く）。下記に示す仕様は参考仕様であり、新設機器については下記と同等またはそれ以上の性能を有することとする。

(1)測定範囲・精度

番号	測定項目	測定範囲	精 度	備考
1	風 向	全方位	±3° 以内	
2	風 速	0.4～90m/s	10m/s 未満、±0.3m/s 以内 10m/s 以上、±3%以内	
3	温 度	-20～40℃	±0.15℃以内(0℃において)	強制通風筒内収納
4	湿 度	0～100%	±2%RH 以内(23℃において)	強制通風筒内収納
5	雨 量	1.0mm/パルス	雨量 40mm まで±1.0mm 以内 40mm を超える場合±3%以内	
6	気 圧	870～1050hPa	±0.3hPa 以内 (at20℃)	
7	積雪計	0～6m	±1cm 以内(標準反射板による)	
8	蒸発量計	0～100mm	±1mm 以内	

(2) 気象観測装置

① データロガー

番号	測定項目	スケール	LAN 出力
1	風 向	0～540°	○
2	風 速	0～90m/s	○
3	温 度	-50～50℃	○
4	湿 度	0～100%	○
5	雨 量	1.0mm/パルス	○
6	気 圧	800～1100hPa	○
7	積 雪	0～600cm	○
8	蒸発量	0～100mm	○

- ・ 入力 各発信器からの出力信号
- ・ 出力 LAN (1 ポート)、雨量を除く測定項目 (0～5DVC)、雨量 (パルス)
- ・ その他 SD カードに記録できること
記録データは 1 年間分以上の保存が可能なこと
点検中／電源断の接点出力ができること

② データ処理装置およびソフトウェア

- ・ 構成 既設計器架に組み込み、データ処理ソフトをインストールして、データロガーと LAN 接続でデータを収集の上、閲覧
・ 帳票印刷に対応する。記録データは 1 年間分以上の保存が可能なこと。
- ・ データ収集 風向・風速・気温・湿度・雨量・気圧・積雪・蒸発量
- ・ 画面表示 1 分、10 分、1 時間、1 日、1 月、1 年データの表示
風配図グラフ表示、要素毎のグラフ表示
- ・ 帳票処理 日報、月報、年報、グラフを印刷する機能
下記の自動演算機能
 - ・ 平均風向風速、最大瞬間風速
 - ・ 最大風速及びその時の風向、起時
 - ・ 平均気温、最高・最低気温及び起時
 - ・ 平均湿度、最高・最小湿度及び起時
 - ・ 時間最大雨量、日最大雨量、月最大雨量、積算雨量
 - ・ 平均気圧、最高・最低気圧及び起時
 - ・ 積算積雪量、最高・最低積雪量及び起時
 - ・ 積算蒸発量

- ③ 収納ラック
 - ・構造 19 インチキャビネットラック
 - ・外形寸法 W570×D630×H2050 mm 程度
 - ・付属品 ブランクパネル、機器設置棚等
- ④ モニタ・キーボード
 - ・モニタ 19 インチ程度
 - ・キーボード 日本語キーボード
 - ・マウス 光学式マウス
- ⑤ 電源部
 - ・構成 実装機器への AC100V 電源供給と外線ケーブルの接続処理（保安器含む）を行うためのものである。
 - ・無停電電源装置 常時インバータ給電方式、バックアップ時間 5 分以上

(3) 風向・風速計

- ① 型式 プロペラと尾翼一体の飛行機型、防滴構造
- ② 発信部 風向：磁気エンコーダ方式
風速：磁気パルス方式
- ③ 規格 起動風速：0.4m/s 以下の風速で起動
耐風速：108m/s 以上
- ④ その他 気象測器検定品（型式証明品）であること
支柱は鋼製（溶融亜鉛メッキ仕様）とする

(4) 温度計

- ① 検出方式 白金測温抵抗体方式
- ② 規格 JIS A 級
- ③ その他 気象測器検定品（型式証明品）であること

(5) 湿度計

- ① 検出方式 静電容量方式
- ② その他 気象測器検定品（型式証明品）であること
維持管理の観点から塩化リチウム塗布方式は認めない

(5) 強制通風筒

- ① 方式 3 重筒 強制通風方式
- ② 通風速度 約 4~7m/s
- ③ 主要材質 ステンレス、樹脂
- ④ その他 容易に支柱に取付ができ、メンテナンス性に優れること

(6)雨量計

- | | |
|---------|---------------------|
| ① 検出方式 | 転倒ます式 |
| ② 一転倒雨量 | 1.0mm |
| ③ 出力信号 | 1.0mm 毎の無電圧接点パルス |
| ④ その他 | 気象測器検定品（型式証明品）であること |

(7)気圧計（気象観測装置架に実装）

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| ① 検出方式 | シリコン静電容量型3センサー方式 |
| ② 規格 | 300～1100hPa（気象測器検定測定範囲：870～1,050hPa） |
| ③ その他 | 気象測器検定品（型式証明品）であること |

(8)積雪計

- | | |
|--------|--|
| ① 検出方式 | レーザー光位相差計測方式
レーザー式距離計により、反射面（ターゲット板）までの距離を測定し、設置角度により鉛直距離を求め出力する方式 |
| ② 人体検知 | 背景と温度差のある物体が検知範囲内を移動した場合にレーザー照射を停止する。レーザーの停止時間を越えて検知範囲に留まると背景とみなされレーザー照射が再開する。 |
| ③ その他 | 気象測器検定品であること
ターゲット板を付属すること
支柱は風向風速計と共用とする |

(9)蒸発量計

- | | |
|--------|--|
| ① 検出方式 | 蒸発による水面の下降をフロートにより水位検出する方式
口径1200mmの容器（白色のタライ）に水を入れ、蒸発による水位の変化を導水管で検出器に導入、検出器水槽内のフロートで水位を検出し、プーリと歯車によりポテンシオメータを駆動して、抵抗の変化として出力する。 |
| ② 規格 | タライ口径 φ1200 mm |

第8条 共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記事項は次のとおりとする。

（工事用道路）

本工事の輸送ルートは国道318号である。

1-1-24 施工時期及び施工時間の変更

（施工時期、施工日）

本工事の現場施工期間は、令和〇年〇月〇〇日から令和〇年〇月〇〇日までとする。

第2節 関連工事の調整

1-2-1 請負者相互の協力

1. 主な関連工事は次のとおりである。

(1) ○○○○工事

第3節 監督職員

1-6-3 現場技術業務

本工事は、現場における現場技術業務を○○○○に委託している。なお、本工事を担当する現場技術員の氏名は別に通知する。

第4節 工事用地の確保等

1-4-1 工事用地等の使用

1. 請負者が現場施工期間中に製品、機材置き場などとして無償で使用できる用地は、○○○○とする。ただし、使用範囲、時期については監督職員の承諾を得るものとする。
2. 請負者が仮組立ヤードを必要とする場合、○○○○を無償で使用可能である。ただし、使用範囲、時期については監督職員の承諾を得るものとする。

第5節 検査及び引渡し

1-5-1 監督職員による検査（確認を含む）及び立会等

1. 本工事の段階確認は次のとおりとする。ただし、方法、日程については監督職員と協議して決定しなければならない。

工場にて行う段階確認は、日本国内の工場で行うものとする。

(1) 性能確認

上記の確認時期は次のとおりとする。

項目	実施時期
(1) 性能確認	(工場) 製作完了時 (現場) 据付完了時

1-5-2 技術検査

本工事は中間技術検査の対象工事とし、項目と時期は次によるものとする。

(実施回数)

本工事は、中間技術検査実施対象工事とし、実施回数は○回とする。

ただし、発注者の都合により実施回数を変更する場合は、監督職員より指示するものとする。

(検査の実施)

検査の実施は、完成、既済部分（完済を含む）の検査時期及び当該工事の主工種を考慮し、施工上の重要な変化点（一部供用開始を行う時点等）の段階で実施するものとする。

(提出資料)

請負者は、検査時に確認できる完成部分（部分完成を含む）については、設計図書を複写して色分け（完成部分を赤色）して2部提出しなければならない。

(引渡し)

請負者は、この検査により確認した出来形部分の工事目的物の引渡しは行わないものとし、引渡しまでに善良に管理するものとする。

第4節 据 付

3-4-1 仮設機材

工事用電力、光熱、用水は全て請負者の負担とする。

3-4-2 据 付

本工事の施工場所における制限高さは〇〇mである。

第5節 電気配線

3-5-1 一般事項

電気配管及び配線の種類は次のとおりとする。

動力線	: 600V CV ケーブル
操作・制御線	: CVV ケーブル、CVVS ケーブル、その他機器に適合したケーブル
アース線	: IV ケーブル

第9条 準拠規定

1. 本工事の設計、製作及び据付にあたっては、本仕様書によるほか、下記に示す基準等に準拠するものとする。

なお、これらの基準等は、契約時点における最新のものを適用するものとする。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| (1) 徳島県土木工事共通仕様書 | (徳島県) |
| (2) 機械工事共通仕様書（案） | (国土交通省) |
| (3) 機械工事施工管理基準（案） | (国土交通省) |
| (4) 機械工事塗装要領（案）・同解説 | (国土交通省) |
| (5) 河川管理施設等構造令及び同施行規則 | (国土交通省) |
| (6) 河川砂防技術基準（案） | (国土交通省) |
| (7) ダム・堰施設技術基準（案） | (ダム・堰施設技術協会) |

- (8) ダム・堰施設検査要領（案） （ダム・堰施設技術協会）
- (9) 日本産業規格 （JIS）
- (10) その他、関連法規及び規格

第10条 塗装

本工事における各設備の塗装仕様はメーカー標準仕様とし、仕上色は施工前に発注者と協議を行うものとする。

第11条 施工管理等

1. 施工管理

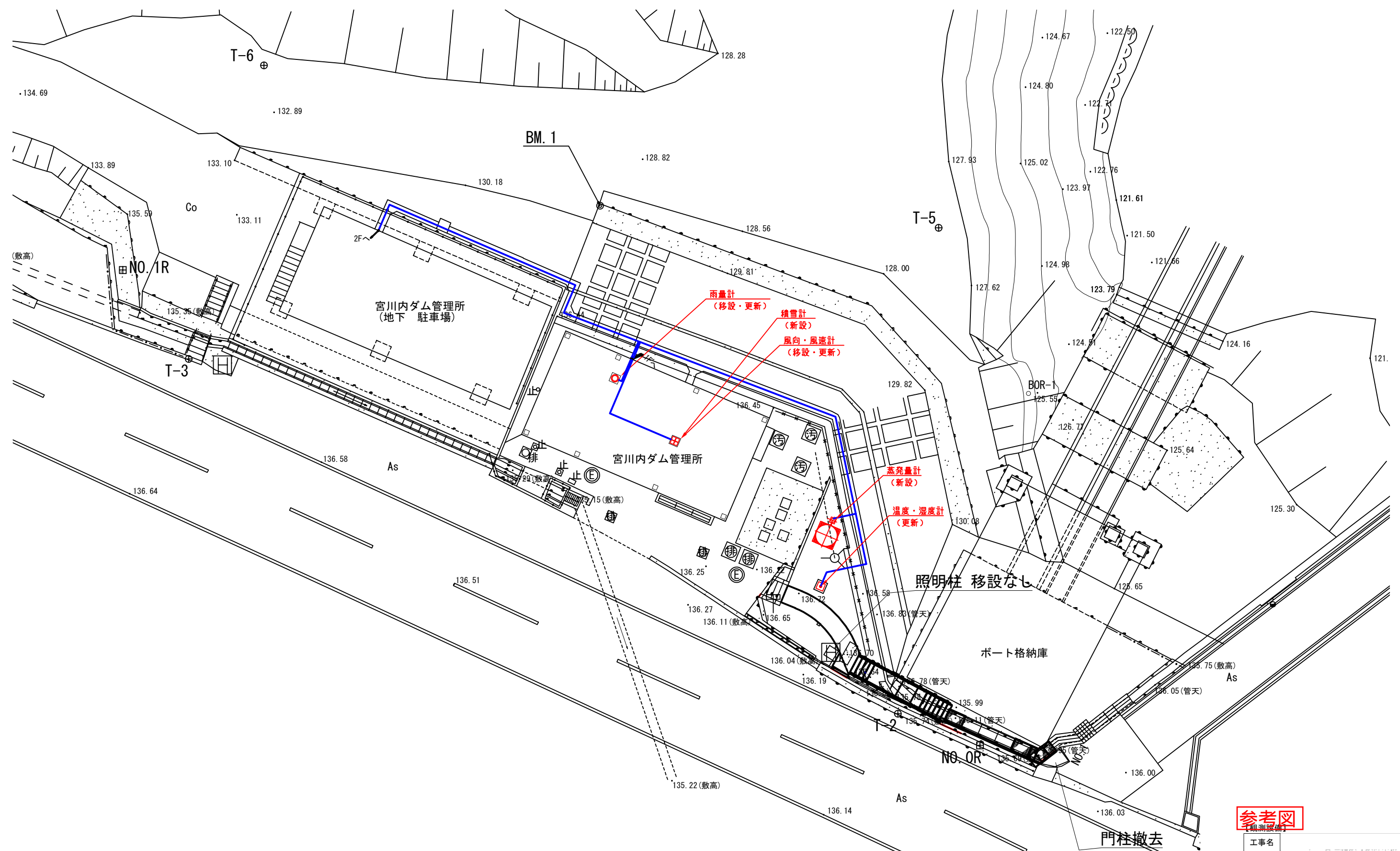
施工管理は、ダム・堰施設検査要領（案）（同解説）および共通仕様書によるものとする。なお、これらに定められていない次項については、請負者の基準によるが、この場合予め監督職員の承諾を得るものとする。

第12条 その他事項

- (1) この仕様書に明記の無い事項であっても、構造上または運転上具備しなければならない事項および工事施工上、当然必要な作業設備等は、全て受注者の負担とする。
- (2) 工事現場に必要な事務所、宿舍、倉庫、その他の設備は全て受注者の負担とする。
- (3) 本工事の施工にあたっては、本仕様書および図面による他、以下の各項によるものとする。
 - 1) 土木工事共通仕様書（徳島県）
 - 2) 土木工事施工管理の手引き（徳島県）
 - 3) その他関連法規基準
- (4) 工事の施工においては、放流量、水質等に関してダムの運用に影響を与えないよう十分配慮すること。
- (5) 設備の撤去および据付にあたっては、クレーンやトラック等を使用して、安全かつ速やかに施工を行うこと。
- (6) 工事施工により発生した産業廃棄物および撤去品については、法律に基づく適切な処理を受注者の責任と負担で行うこと。なお、撤去品の処分数量・品目については変更協議の対象とする。
- (7) 工事期間中、下記別途工事が予定されているため、双方の作業工程を把握し、円滑に工事を進めること。
 - ・○○○工事
 - ・○○○工事

以上

屋外 機器配置図

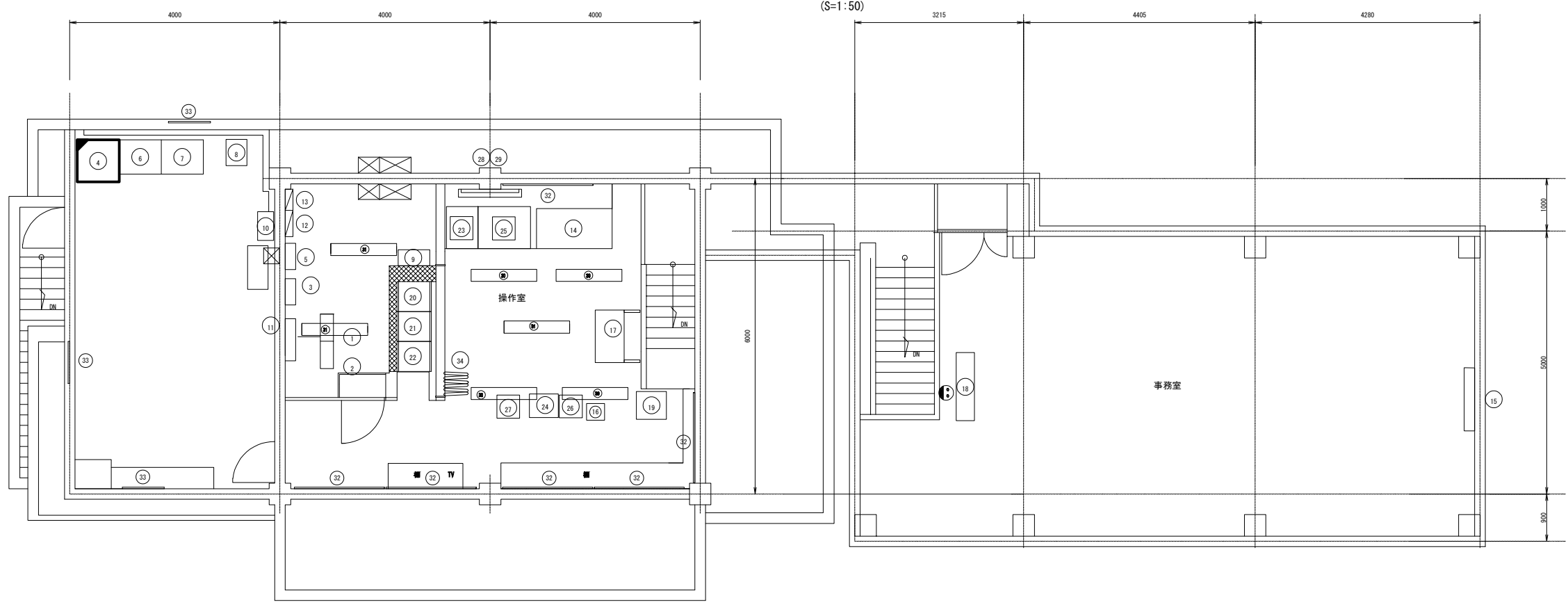


参考図

工事名	宮川内ダム		
路線名等	徳島県 阿波市 土成町		
工事箇所	徳島県 阿波市 土成町		
図面名	屋外機器配置図(更新)		
縮尺	1:100	図面番号	9
会社名			
事業者名	徳島県 吉野川県土整備事務所		

管理棟 機器配置図

2階平面図
(S=1:50)



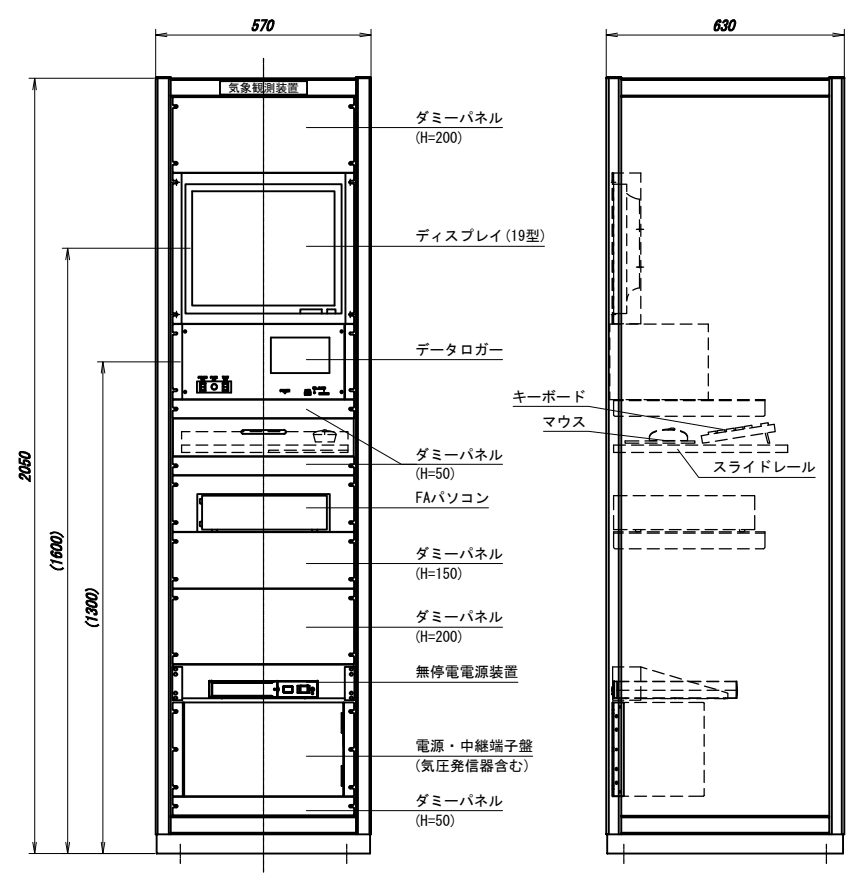
管理所1階 機器一覧表

番号	機器名称	備考
1	発動発電機	既設
2	低圧受電配電盤	既設
3	自動始動盤	既設
4	中継端子盤	既設
5	電灯分電盤	既設
6	無停電電源装置(テレメータ用)	既設
7	耐震トランス	既設
8	警報表示盤	既設

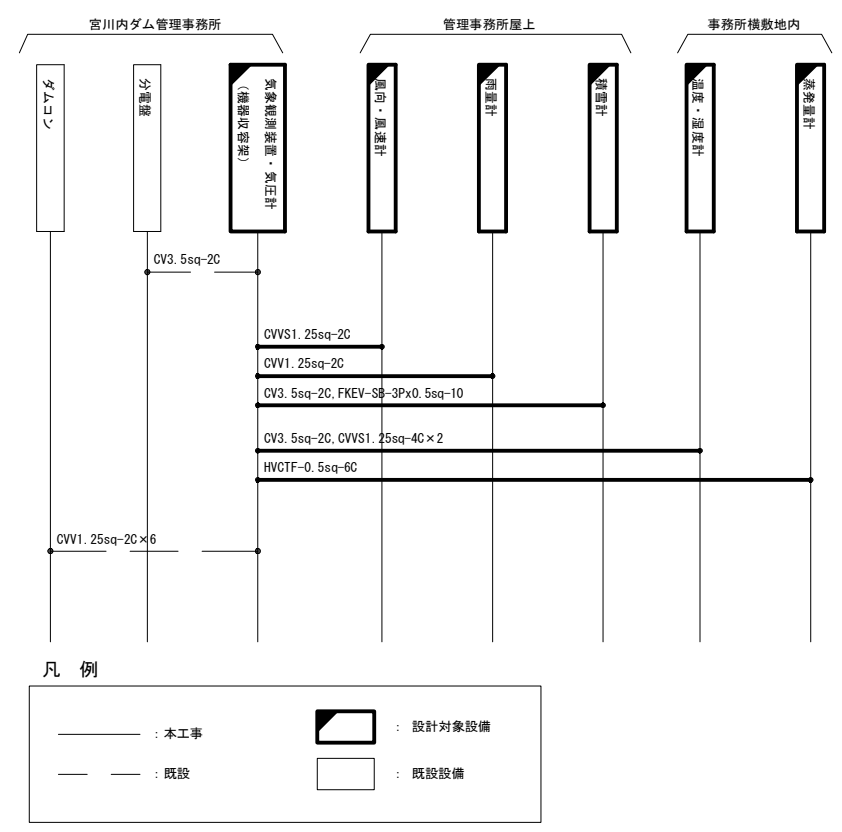
管理所2階 機器一覧表

番号	機器名称	備考
1	有線観測警報装置	既設
2	TM/AL監視警報装置	既設
3	無停電電源装置(ダムコン用)	既設
4	気象観測装置	更新
5	サイレン制御装置	既設
6	プリンタ(放流警報操作記録)	既設
7	プリンタ(テレメータ観測記録)	既設
8	放水警報装置	既設
9	ダム情報送信装置	既設
10	観測装置	既設
11	分電盤(ダムコン)	既設
12	テレメータ機器分電盤	既設
13	分電盤(通信機器)	既設
14	TM/AL操作卓	既設
15	情報表示盤(50型液晶モニター)	既設
16	CCTV操作卓	既設
17	大型モニター(薄型50インチ)	既設
18	大型モニター(薄型50インチ)	既設
19	CCTV収容架(改造)	既設
20	光ケーブル接続盤/中継端子盤	既設
21	入出力装置	既設
22	情報入力提供装置(電話応答装置含む)	既設
23	放流操作装置1	既設
24	放流操作装置2	既設
25	操作表示器	既設
26	訓練装置	既設
27	カラーレーザープリンタ	既設
28	情報表示盤(50型液晶モニター)	既設
29	観時計装置	既設
30	LED照明(XLX4590ENLEB)	既設
31	LED照明(蓄電池内蔵型(XLX451A0MLEB))	既設
32	ブラインド	既設
33	網戸	既設
34	パーティション 折れ戸	既設

機器収容架参考図
(S=1:10)



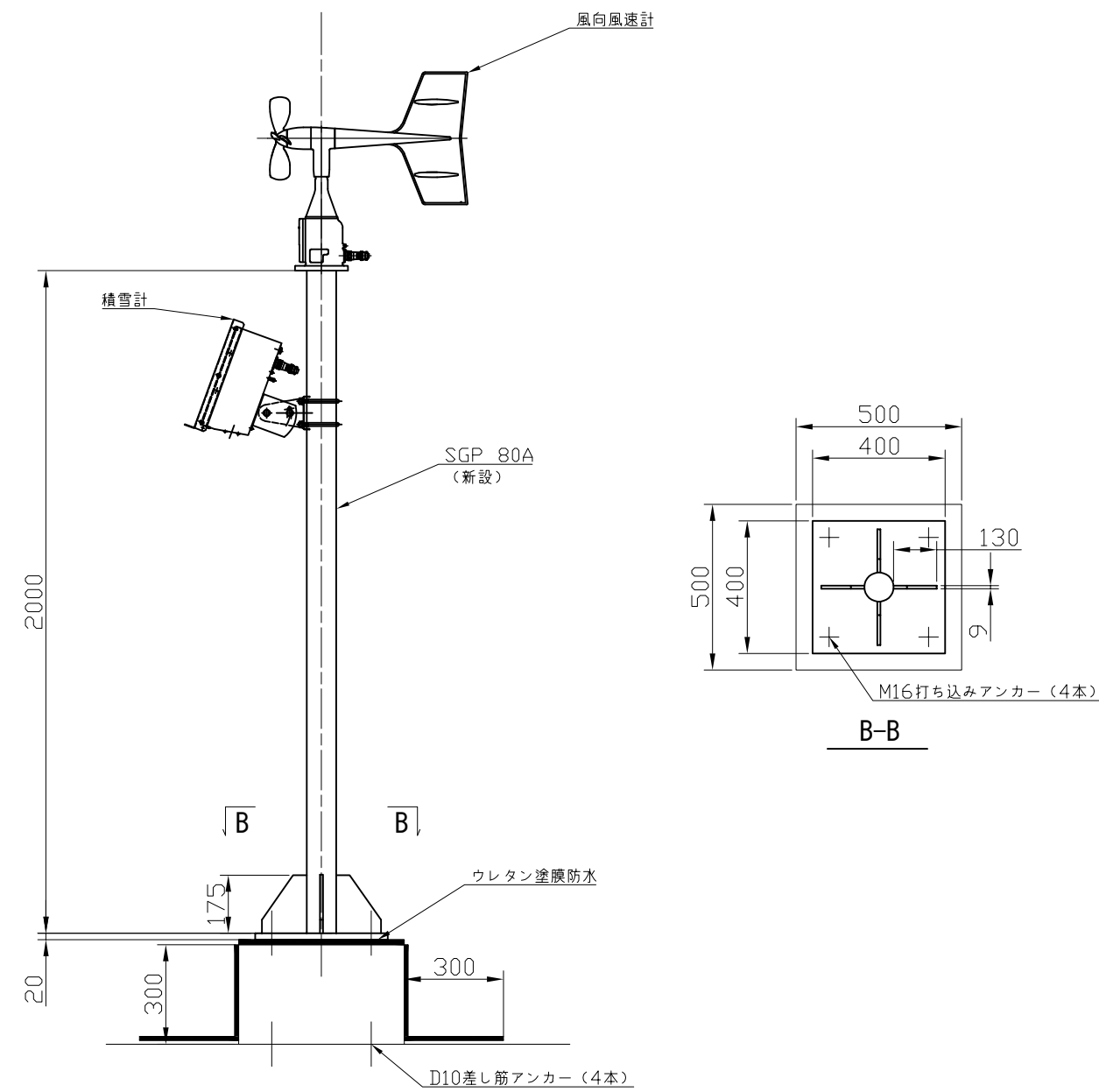
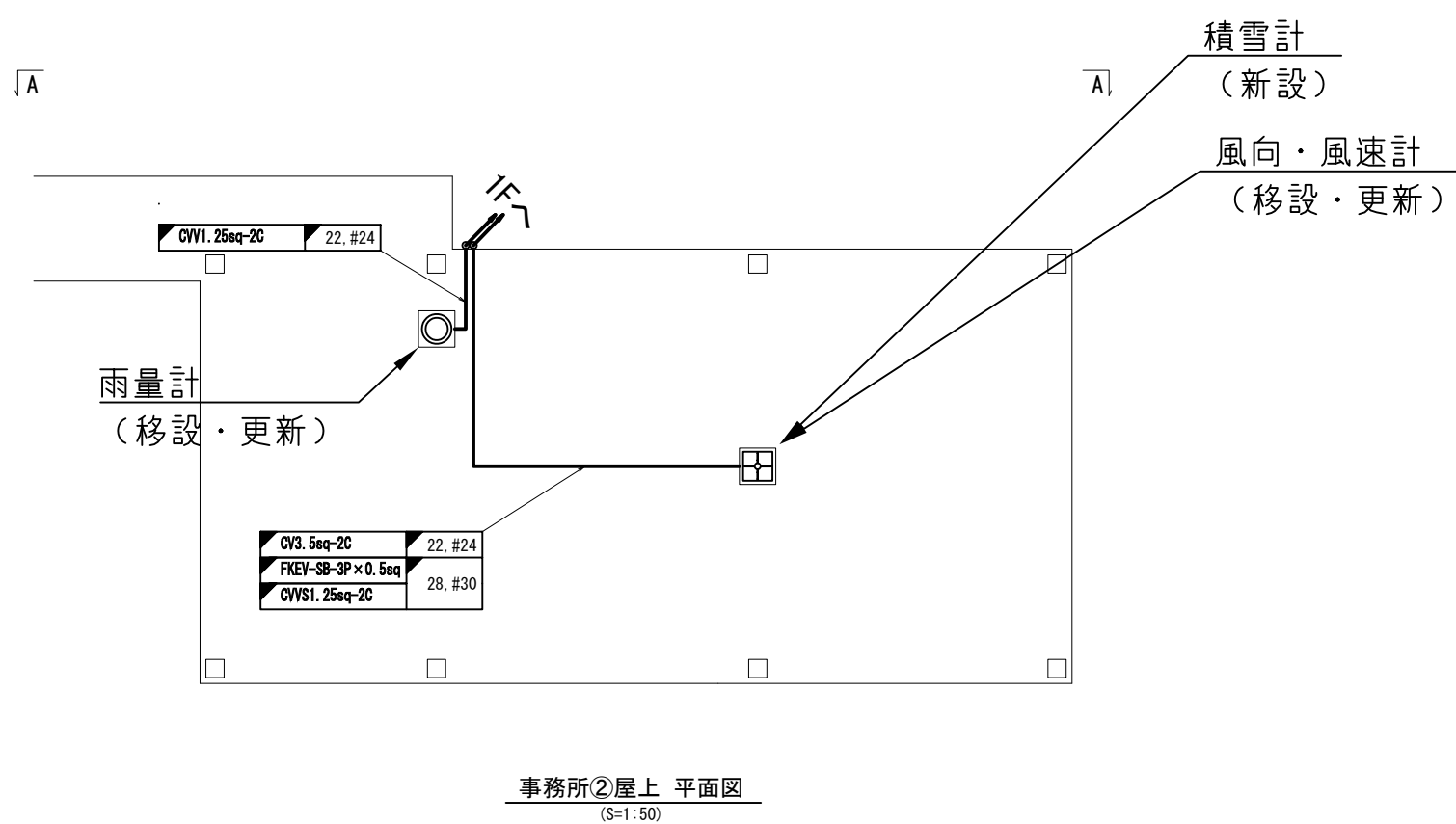
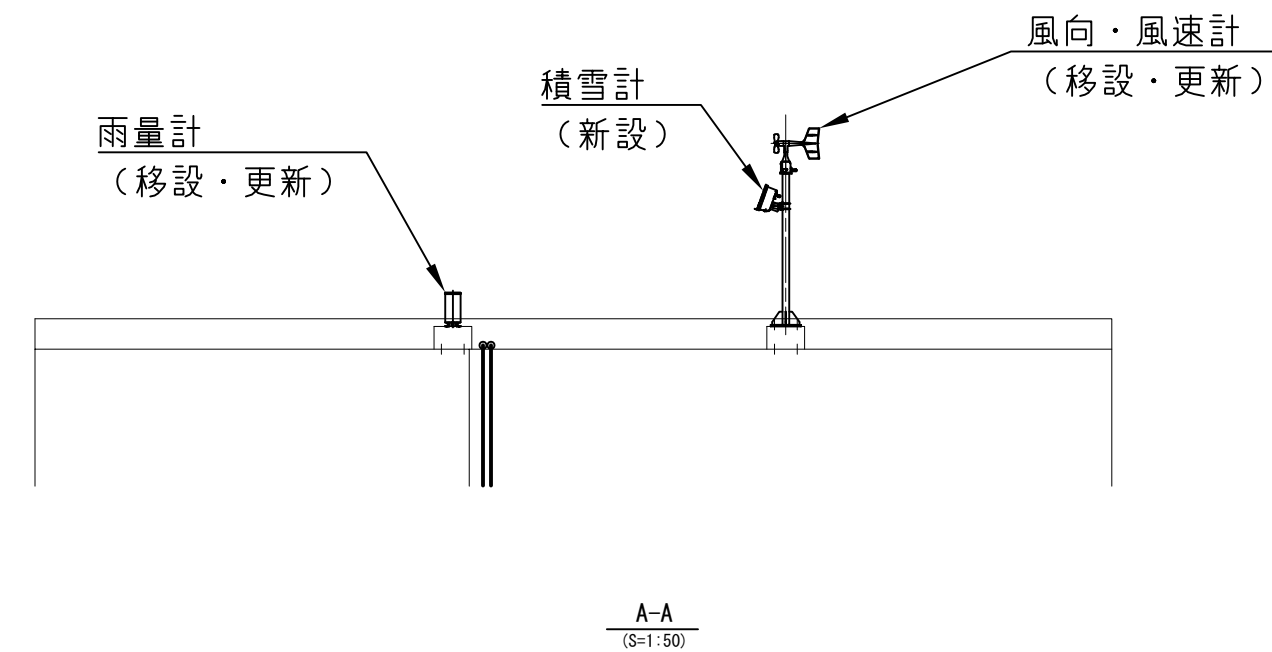
配線系統図



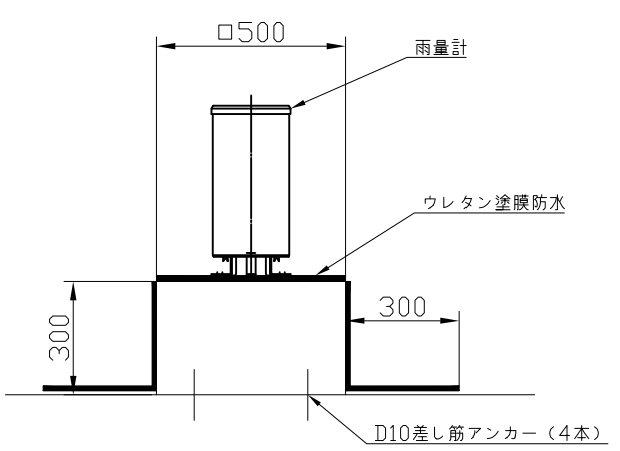
参考図
7-観測設備

工事名	宮川内ダム		
路線名等	徳島県 阿波市 土成町		
工事箇所	管理棟機器配置図(更新)		
縮尺	図示	図面番号	10
会社名	徳島県 吉野川県土整備事務所		

機器設置詳細図(1)



風向風速計・積雪計
 (S=1:10)



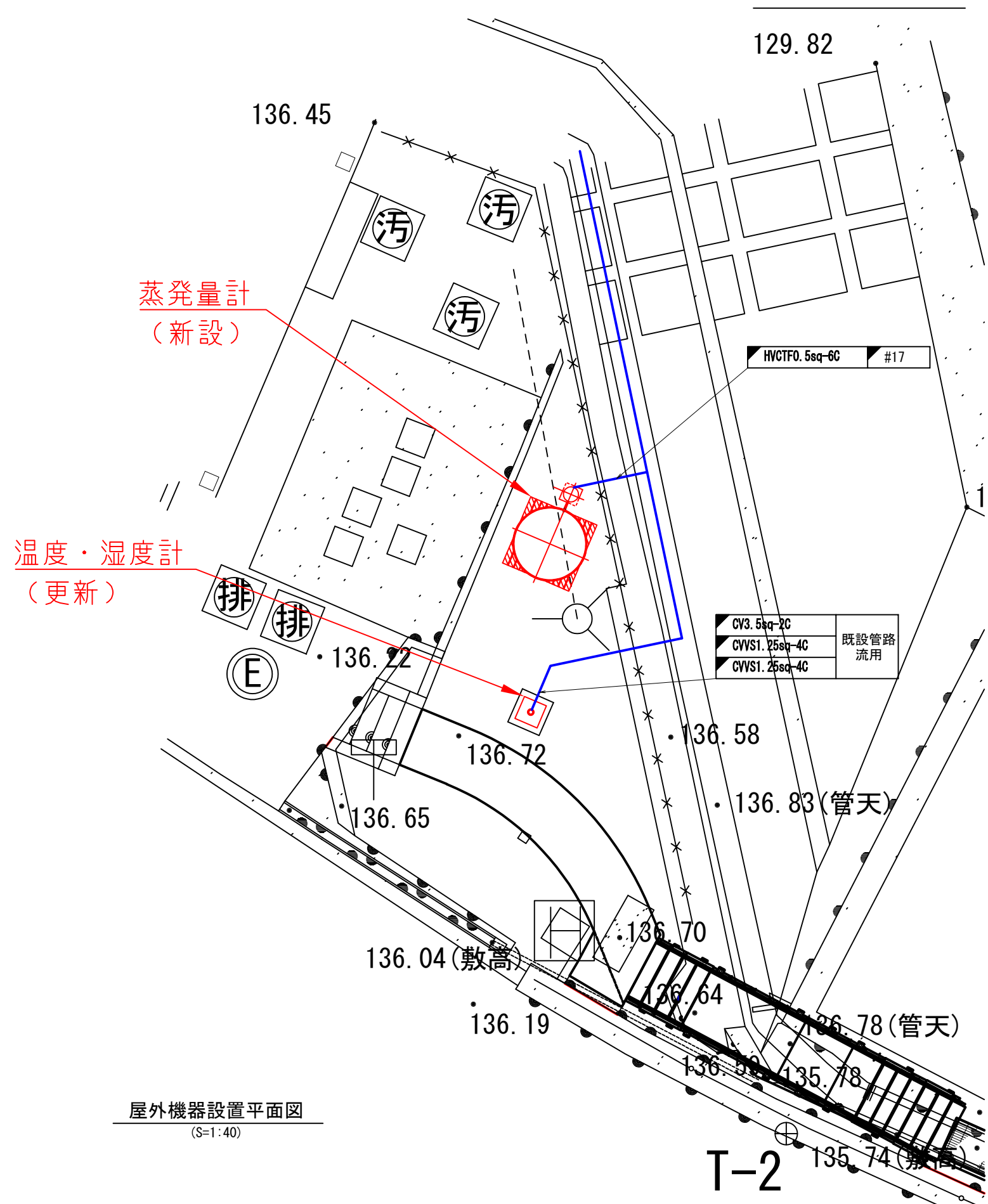
雨量計
 (S=1:10)

※雨量計、風向風速計・積雪計設置用の
 コンクリート基礎は新規設置のこと
 ※既設屋上防水との境界部は重ね合わせる

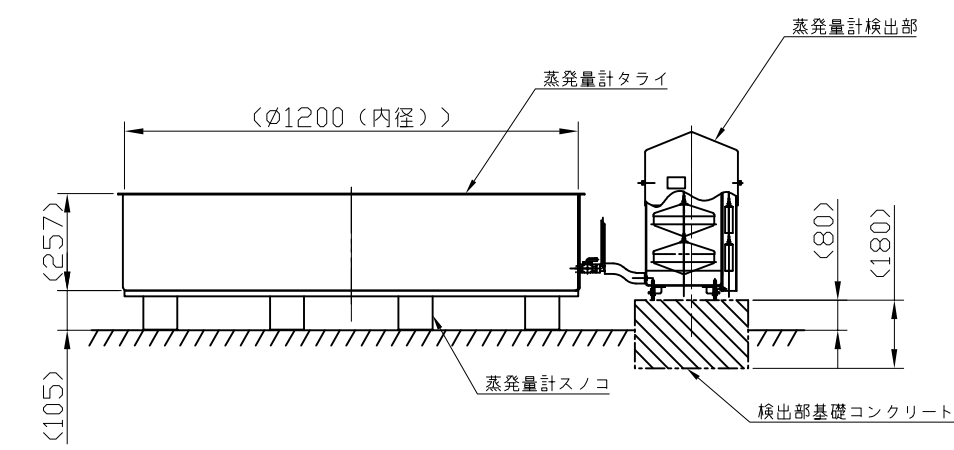
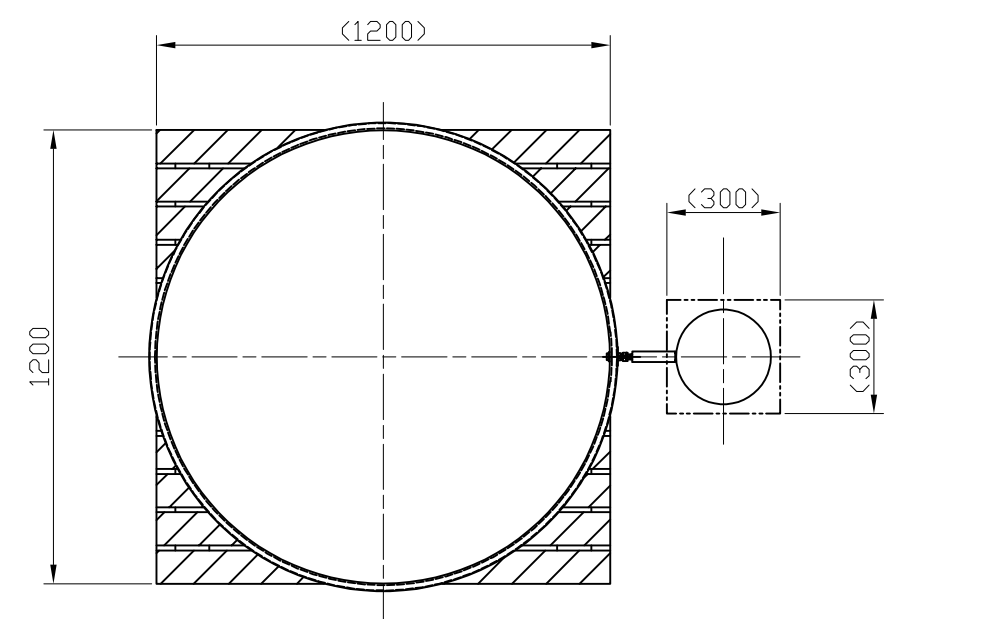
参考図

工事名			
路線名等	宮川内ダム		
工事箇所	徳島県 阿波市 土成町		
図面名	機器設置詳細図(1)		
縮尺	図示	図面番号	11
会社名			
事業者名	徳島県 吉野川県土整備事務所		

機器設置詳細図(2)

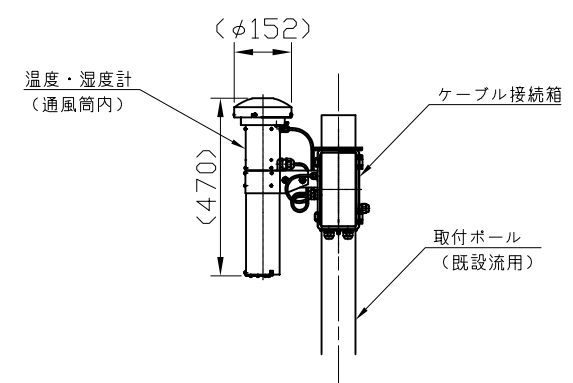


屋外機器設置平面図
(S=1:40)



*スノコおよび基礎コンクリート設置面は平らに整地すること

蒸発量計
(S=1:10)



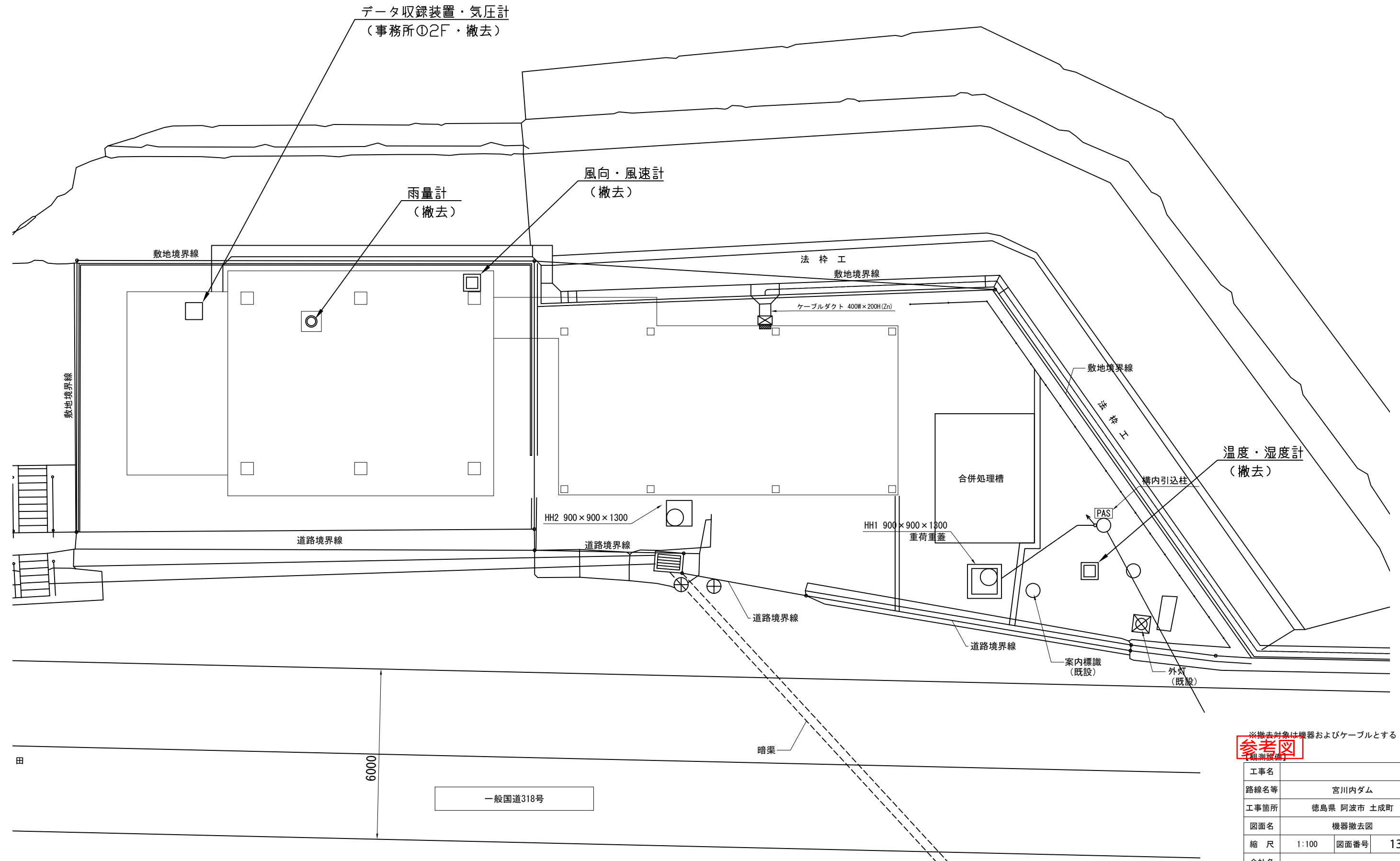
温度・湿度計
(S=1:10)

※() 寸法は参考値

参考図

工事名	宮川内ダム		
路線名等	徳島県 阿波市 土成町		
工事箇所	徳島県 阿波市 土成町		
図面名	機器設置詳細図(2)		
縮尺	図示	図面番号	12
会社名			
事業者名	徳島県 吉野川県土整備事務所		

機器撤去図

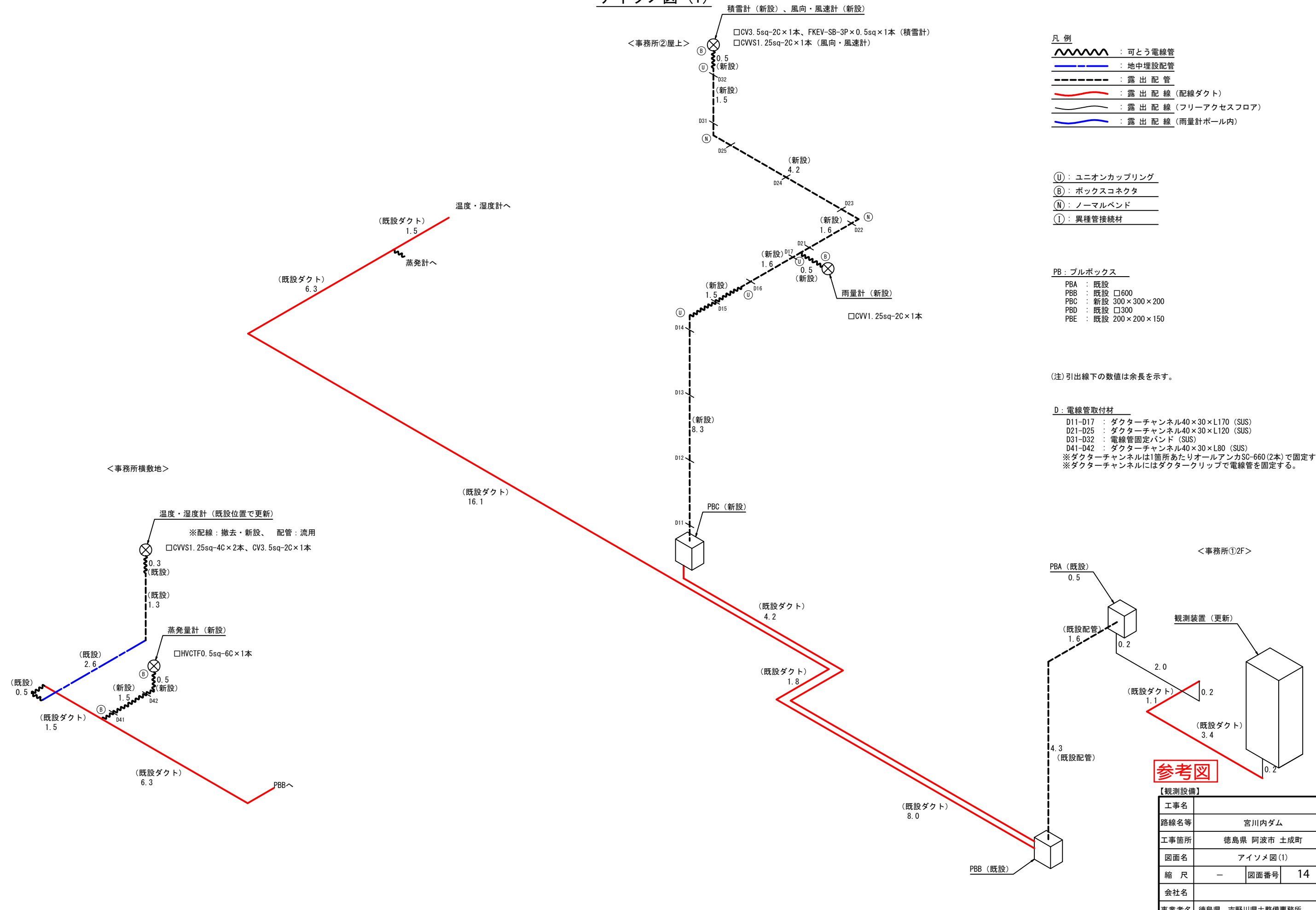


※撤去対象は機器およびケーブルとする

参考図

工事名			
路線名等	宮川内ダム		
工事箇所	徳島県 阿波市 土成町		
図面名	機器撤去図		
縮尺	1:100	図面番号	13
会社名			
事業者名	徳島県 吉野川県土整備事務所		

アイソメ図 (1)



- 凡例**
- : 可とう電線管
 - : 地中埋設配管
 - : 露出配管
 - : 露出配線 (配線ダクト)
 - : 露出配線 (フリーアクセスフロア)
 - : 露出配線 (雨量計ポール内)

- U** : ユニオンカップリング
- B** : ボックスコネクタ
- N** : ノーマルベンド
- I** : 異種管接続材

- PB** : ブルボックス
- PBA : 既設
 - PBB : 既設 □600
 - PBC : 新設 300×300×200
 - PBD : 既設 □300
 - PBE : 既設 200×200×150

(注) 引出線下の数値は余長を示す。

- D** : 電線管取付材
- D11-D17 : ダクターチャンネル40×30×L170 (SUS)
 - D21-D25 : ダクターチャンネル40×30×L120 (SUS)
 - D31-D32 : 電線管固定バンド (SUS)
 - D41-D42 : ダクターチャンネル40×30×L80 (SUS)
- ※ダクターチャンネルは1箇所あたりオールアンカSC-660(2本)で固定する。
 ※ダクターチャンネルにはダクタークリップで電線管を固定する。

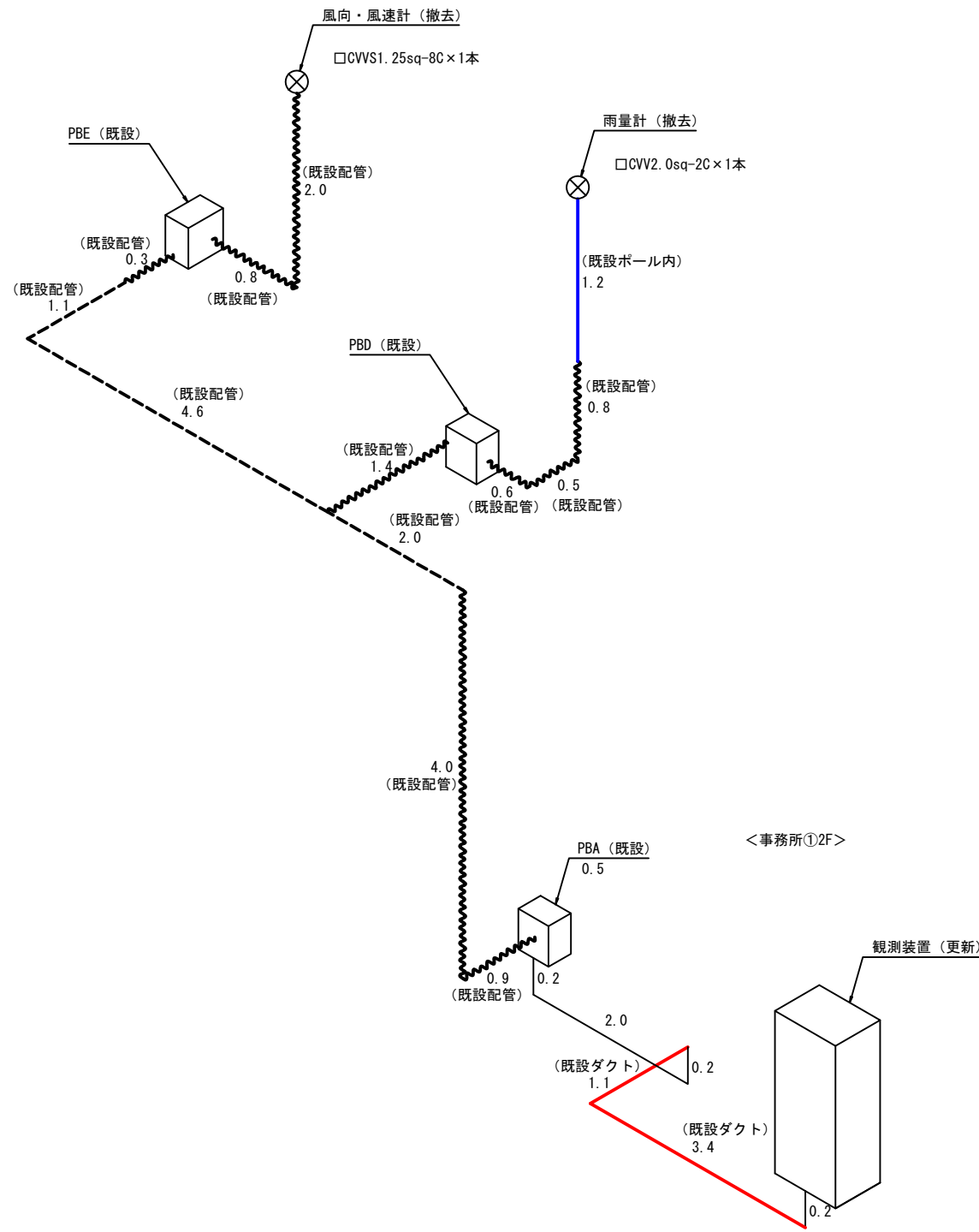
参考図

【観測設備】			
工事名			
路線名等	宮川内ダム		
工事箇所	徳島県 阿波市 土成町		
図面名	アイソメ図(1)		
縮尺	-	図面番号	14
会社名			
事業者名	徳島県 吉野川県土整備事務所		

アイソメ図 (2)

<事務所①屋上>

※配線・機器：撤去 配管・PB：残置



- 凡例
- : 可とう電線管
 - : 地中埋設配管
 - : 露出配管
 - : 露出配線 (配線ダクト)
 - : 露出配線 (フリーアクセスフロア)
 - : 露出配線 (雨量計ポール内)

- PB: プルボックス
- PBA : 既設 □600
 - PBB : 既設 □300
 - PBC : 新設 □300
 - PBD : 既設 □300
 - PBE : 既設 200 × 200 × 150

(注) 引出線下の数値は余長を示す。

参考図

【観測設備】			
工事名			
路線名等	宮川内ダム		
工事箇所	徳島県 阿波市 土成町		
図面名	アイソメ図 (2)		
縮尺	-	図面番号	15
会社名			
事業者名	徳島県 吉野川県土整備事務所		

宮川内ダム
気象観測装置

電気設備数量表
(気温計・湿度計／雨量計／風向・風速計／蒸発量計／積雪計)

〔 土木関係 数量拾い出し表 (1/3) 〕

工 種：複 合 工

設備名：

施工箇所：

作 業：

No. 1	雨量計基礎	数量	1					
	コンクリート工	$0.5 \times 0.5 \times 0.3 =$	無筋	塗膜防水	$1.1 \times 1.1 + 0.5 \times 0.3 \times 4 =$	1.81 m^2		
			0.08 m^3					
	型枠	$0.5 \times 0.3 \times 4 =$		0.60 m^2				
	アンカー		D10用	4 本				

〔 土木関係 数量拾い出し表 (2/3) 〕

工 種 : 複 合 工

設備名 :

施工箇所 :

作 業 :

No. 2	風向風速計・積雪計基礎	数量	1	コン ク リ ー ト 工	0.5×0.5×0.3=	無筋 0.08 m ³	塗 膜 防 水	1.1×1.1+0.5×0.3×4=	1.81 m ²
				型 枠	0.5×0.3×4=	0.60 m ²			
				ア ン カ ー		D10用 4 本			

〔 土木関係 数量拾い出し表 (3/3) 〕

工 種：複 合 工

設備名：

施工箇所：

作 業：

No. 3	蒸発量計基礎	数量	1					
<p>※スノコおよび基礎コンクリート設置面は平らに整地すること</p>	コン ク リ ー ト 工	$0.3 \times 0.3 \times 0.18 =$	無筋					
				0.02	m^3			
	型 枠	$0.3 \times 0.18 \times 4 =$		0.22	m^2			
	掘 削	$0.3 \times 0.3 \times 0.1 =$		0.01	m^3			

宮川内ダム

- 積雪計、風向・風速計
- 雨量計
- 温度・湿度計、蒸発量計

電気設備数量表

総括数量表

単位：kg

機種	種目	数量	1門分			全門分			備考
			鋼材	部品・機器単体品	1門計	鋼材	部品・機器単体品	全門計	
電気設備	配線配管	1		152.9	152.9		152.9	152.9	
合計				152.9	152.9		152.9	152.9	

部材集計表

単位 : kg

No	種目	数量	1門分					全門分					備考	
			主要部材	副部材	主要部品	機器単体品	その他	1門計	主要部材	副部材	主要部品	機器単体品		その他
1	電気設備									152.9			152.9	
	配線配管	1			152.9			152.9		152.9			152.9	
	合計				152.9			152.9		152.9			152.9	

数量計算書

機種：電気設備

種目：配線配管

品番	区分	部品名称	材質	規格(×幅mm)	長さ(mm)	数	単位質量(kg)	単位	質量(kg)	塗面1(m ²)	塗面2(m ²)	酸面(m ²)
1		配線配管材										
	部	ケーブル	600V	CV3.5sq-2C		104	0.17	m	17.7			
	部	ケーブル		CVV1.25sq-2C		42	0.1	m	4.2			
	部	ケーブル		CVVS1.25sq-2C		49	0.1	m	4.9			
	部	ケーブル		CVVS1.25sq-4C		109	0.15	m	16.4			
	部	ケーブル		HVCTF0.5sq-6C		50	0.11	m	5.5			
	部	ケーブル		FKEV-SB-3Px0.5sq		49	0.11	m	5.4			
	部	電線管	厚鋼	22(定尺3.66m)		8	5.01	本	40.1			
	部	電線管	厚鋼	28(定尺3.66m)		5	6.95	本	34.8			
	部	ノーマルバンド	厚鋼	22用		2	0.41	本	0.8			
	部	ノーマルバンド	厚鋼	28用		2	0.62	本	1.2			
	部	金属製可とう電線管	2種ビニル被覆	#17		3	0.6	m	1.8			
	部	金属製可とう電線管	2種ビニル被覆	#24		5	0.82	m	4.1			
	部	金属製可とう電線管	2種ビニル被覆	#30		3	1.07	m	3.2			
	部	ユニオンカップリング	WUG	#24		6	0.18	個	1.1			
	部	ユニオンカップリング	WUG	#30		3	0.3	個	0.9			
	部	ボックスコネクタ	WBG	#17		2	0.13	個	0.3			
	部	ボックスコネクタ	WBG	#24		2	0.15	個	0.3			
	部	ボックスコネクタ	WBG	#30		1	0.24	個	0.2			
	部	防水形プルボックス	SUS304防水	PB300X300X200XT1.5		1	5.72	個	5.7			
	部	ダクターチャネル	SUS	ダクタ_40X30X80		2	0.13	本	0.3			
	部	ダクターチャネル	SUS	ダクタ_40X30X120		5	0.15	本	0.8			
	部	ダクターチャネル	SUS	ダクタ_40X30X170		7	0.22	本	1.5			
	部	ダクタークリップ	SUS	ダクタクリップ_G22		17	0.04	個	0.7			
	部	ダクタークリップ	SUS	ダクタクリップ_G28		11	0.04	個	0.4			
	部	ダクタークリップ	SUS	ダクタクリップ_#17		2	0.03	個	0.1			
	部	ダクタークリップ	SUS	ダクタクリップ_#24		2	0.04	個	0.1			
	部	ダクタークリップ	SUS	ダクタクリップ_#30		1	0.04	個				
	部	電線管固定バンド	SUS	電線管固定バンド		2	0.05	式	0.1			
	部	オールアンカー	SUS304	SC-660		28	0.01	本	0.3			
		配線配管 合計							152.9			

宮川内ダム

- 積雪計、風向・風速計
- 雨量計
- 温度・湿度計、蒸発量計

電気設備数量拾出表

A. ケーブル・電線集計表(1/2)

数量区分:温、蒸、風、積、雨

NO	配線区間		種別 工法	600V CV3.5sq-2C 単位:m					CVV1.25sq-2C 単位:m					CVVS1.25sq-2C 単位:m					CVVS1.25sq-4C 単位:m							
				端末	管内	ラック・ダクト	フリーアクセス	地中埋設管内	端末	管内	ラック・ダクト	フリーアクセス	地中埋設管内	端末	管内	ラック・ダクト	フリーアクセス	地中埋設管内	端末	管内	ラック・ダクト	フリーアクセス	地中埋設管内			
	自	至																								
1.	観測装置	既設PBA經由既設PBB	0.5	5.9	4.5	2.6																				
1.	観測装置	既設PBA經由既設PBB	0.5	5.9	4.5	2.6																				
2.	既設PBB	新設PBC			14.0						14.0															
3.	新設PBC	新設雨量計								11.9																
4.	新設PBC	新設積雪計、新設風向・風速計		19.2																						
5.	既設PBB	新設蒸発計																								
6.	既設PBB	新設温度・湿度計		2.1	33.7			2.6													4.2	67.4	5.2			
小計			A	1.0	33.1	56.7	5.2		2.6	0.5	17.8	18.5	2.6								1.0	16.0	76.4	5.2		5.2
補完率			B=(1+%/100)	1.00	1.05	1.05	1.05		1.05	1.00	1.05	1.05	1.05								1.00	1.05	1.05	1.05		1.05
計			C=A×B	1.0	34.8	59.5	5.5		2.7	0.5	18.7	19.4	2.7								1.0	16.8	80.2	5.5		5.5
設計数量			D	104.0 [m]					42.0 [m]					49.0 [m]					109.0 [m]							
歩掛	電工 E																									
	普通作業員 F																									
	G																									
工数	電工 E×C																									
	普通 F×C																									
	G×C																									

管内 ----- 露出管内、埋込管内、可とう管内 保護管内 ----- 保護管内配線 ポール内 ----- ポール内配線
 露出 ----- 露出配線 架空 ----- 架空配線 ピット ----- ピット配線 ラック・ダクト ----- ラック・ダクト配線 トラフ・ころがし ----- トラフ・ころがし配線

計

C. その他部材集計表(1/1)

数量区分:温、蒸、風、積、雨

NO	配線区間		種別	電線管取付材		電線管取付材		電線管取付材		電線管取付材		電線管取付材		防水プルボックス																							
	自	至	サイズ	ダクター 40x30x L80 SUS	ダクター 40x30x L120 SUS	ダクター 40x30x L170 SUS	ダクター クリップ G22 SUS	ダクター クリップ G28 SUS	ダクター クリップ #17 SUS	ダクター クリップ #24 SUS	ダクター クリップ #30 SUS	電線管 固定ハット ホール部用 SUS	オール アンカー SC-660	300' 200 T1.5																							
1.	観測装置	既設PBA經由既設PBB																																			
1.	観測装置	既設PBA經由既設PBB																																			
2.	既設PBB	新設PBC													1																						
3.	新設PBC	新設雨量計			7	17	11		2	1			14																								
4.	新設PBC	新設積雪計、新設風向・風速計		5								2	10																								
5.	既設PBB	新設蒸発計	2					2					4																								
6.	既設PBB	新設温度・湿度計																																			
小計		A	2	5	7	17	11	2	2	1	2	28	1																								
補完率		B=(1+%/100)																																			
計		C=A×B																																			
設計数量		D	本	本	本	個	個	個	個	個	個	本	個																								
歩掛	電工 E																																				
	普通作業員 F																																				
	G																																				
工数	電工 E×C																																				
	普通 F×C																																				
	G×C																																				
																																					計

D. 拾い出し根拠表(1/2)

<温:温度・湿度計、 蒸:蒸発量計、 風:風向・風速計、 積:積雪計、 雨:雨量計>

数量区分:温、蒸、風、積、雨

NO	配線区間		種 別			施 工 方 法	計 算						電線管 小 計	ケーブル 小 計	付属材 小 計		
	自	至	ケーブル	本数	電線管												
1.	観測装置	既設PBA経由 既設PBB	ケーブル		電線管	端末余長						0.5		0.5	N :		
			CV3.5sq-2C	1		露出管内							1.6	4.3	5.9		
			CVVS1.25sq-4C	1		埋込管内										5.9	WUG :
			CVVS1.25sq-4C	1		可とう管内											WBG :
						フリーアクセス	0.2			0.2	2.0	0.2				2.6	
						ラック・ダクト配線		3.4	1.1							4.5	V :
						地中	埋設管内								I :		
1.	観測装置	既設PBA経由 既設PBB	ケーブル		電線管	端末余長						0.5		0.5	N :		
			CV3.5sq-2C	1		露出管内							1.6	4.3	5.9		
			FKEV-SB-3P×0.5sq	1		埋込管内										5.9	WUG :
			CVVS1.25sq-2C	1		可とう管内											WBG :
						フリーアクセス	0.2			0.2	2.0	0.2				2.6	
						ラック・ダクト配線		3.4	1.1							4.5	V :
						地中	埋設管内								I :		
2.	既設PBB	新設PBC	ケーブル		電線管	端末余長									N :		
			CV3.5sq-2C	1		露出管内											
			FKEV-SB-3P×0.5sq	1		埋込管内											WUG :
			CVVS1.25sq-2C	1		可とう管内											WBG :
						ラック・ダクト配線	8.0	1.8	4.2							14.0	
																	V :
						地中	埋設管内								I :		
3.	新設PBC	新設雨量計	ケーブル		電線管	端末余長									N :		
			CVV1.25sq-2C	1	22 #24	露出管内	8.3		1.6					9.9			
						埋込管内										11.9	WUG : 3
						可とう管内			1.5		0.5				2.0		WBG : 1
																	V :
									地中	埋設管内							
4.	新設PBC	新設積雪計、 新設風向・風速計	ケーブル		電線管	端末余長									N : 2		
			CV3.5sq-2C	1	22 #24	露出管内	8.3		1.6	1.6	4.2	1.5		17.2			
			FKEV-SB-3P×0.5sq	1	28 #30	埋込管内										19.2	WUG : 3
			CVVS1.25sq-2C	1		可とう管内			1.5			0.5		2.0			WBG : 1
																	V :
									地中	埋設管内							

[厚鋼,薄鋼,VE,HIVE] N:ノーマルベント、EC:エンランスキャップ、TC:ターミナルキャップ、LL:LL形ユニバーサル、LB:LB形ユニバーサル [金属製可とう管] WUG:ユニオンカップリング、WUB:ボックスコネクタ [合成樹脂可とう管] CC:コンビネーションカップリング、BC:コネクタ、AZ:厚鋼ジョイント、UZ:薄鋼ジョイント [FEP] CL:エフレックスクランプ、V:ヘルマウス、I:異種管接続材、BWC:防水キャップ、FSA:直線継手

D. 拾い出し根拠表(2/2)

数量区分:温、蒸、風、積、雨

NO	配線区間		種別			施工方法	計 算						電線管 小 計	ケーブル 小 計	付属材 小 計			
	自	至	ケーブル	本数	電線管													
5.	既設PBB	新設蒸発計	ケーブル	1	電線管	末端余長									2.0	N : WUG : WBG : 2		
			HVCTF0.5sq-6C	#17	露出管内													
					埋込管内													
					可とう管内						1.5	0.5					2.0	
					ラック・ダクト配線			8.0	1.8	16.1	6.3							32.2
															V : I :			
					地中	埋設管内												
6.	既設PBB	新設温度・湿度計	ケーブル	1	電線管	末端余長									2.1	N : WUG : WBG :		
			CV3.5sq-2C		露出管内							1.3					1.3	
			CVVS1.25sq-4C		埋込管内													
			CVVS1.25sq-4C		可とう管内							0.5		0.3				0.8
					ラック・ダクト配線			8.0	1.8	16.1	6.3	1.5						33.7
															V : I :			
					地中	埋設管内					2.6			2.6	2.6			
			ケーブル		電線管	末端余長										N : WUG : WBG :		
					露出管内													
					埋込管内													
					可とう管内													
					ラック・ダクト配線													
					地中	埋設管内									V : I :			
			ケーブル		電線管	末端余長										N : WUG : WBG :		
					露出管内													
					埋込管内													
					可とう管内													
					ラック・ダクト配線													
					地中	埋設管内									V : I :			
			ケーブル		電線管	末端余長										N : WUG : WBG :		
					露出管内													
					埋込管内													
					可とう管内													
					ラック・ダクト配線													
					地中	埋設管内									V : I :			

[厚鋼,薄鋼,VE,HIVE] N:ノーマルベント、EC:エンランスキャップ、TC:ターミナルキャップ、LL:LL形ユニバーサル、LB:LB形ユニバーサル [金属製可とう管] WUG:ユニオンカップリング、WUB:ボックスコネクタ
[合成樹脂可とう管] CC:コンビネーションカップリング、BC:コネクタ、AZ:厚鋼ジョイント、UZ:薄鋼ジョイント [FEP] CL:エフレックスクランプ、V:ヘルマウス、I:異種管接続材、BWC:防水キャップ、FSA:直線継手

宮川内ダム

- 風向・風速計
- 雨量計
- 温度・湿度計

(撤去) 電気設備数量表

数量計算書

品番	区分	部品名称	材質	規格(×幅mm)	長さ(m)	数	単位質量(kg)	単位	質量(kg)	塗面1(m ²)	塗面2(m ²)	酸面(m ²)
		【既設配線】	既設	配線撤去		1		式				
		<内訳>										
		CVV2.0sq-2C			20.0							
		CVVS1.25sq-8C			25.0							
		CV3.5sq-2C			55.0							
		CVVS1.25sq-4C			109.0							
		【気象観測装置】	既設	機器撤去								
		風向風速発信器	取付ポール除く			1		台				
		温度発信器	取付ポール除く			1		台				
		湿度発信器	取付ポール除く			1		台				
		強制通風シエルター	取付ポール除く			1		台				
		雨量発信器	基礎con除く			1		台				
		気圧発信器				1		台				
		収納ラック	収納機器含む			1		式				
		合計										

- 宮川内ダム
- 風向・風速計
 - 雨量計
 - 温度・湿度計

(撤去) 電気設備数量拾出表

A. ケーブル・電線集計表(1/1)

数量区分:(撤去)風向・風速計、雨量計、温度・湿度計

NO	配線区間		種別 工法	600V CV3.5sq-2C 単位:m						CVV2.0sq-2C 単位:m						CVVS1.25sq-4C 単位:m						CVVS1.25sq-8C 単位:m									
				端末	管内	ラック・ダクト	ポール内	フリーアクセス	地中埋設管内	端末	管内	ラック・ダクト	ポール内	フリーアクセス	地中埋設管内	端末	管内	ラック・ダクト	ポール内	フリーアクセス	地中埋設管内	端末	管内	ラック・ダクト	ポール内	フリーアクセス	地中埋設管内				
	自	至																													
1.	観測装置	既設PBA	0.5		4.5		2.6			0.5		4.5		2.6			1.0		9.0		5.2			0.5		4.5		2.6			
2.	既設PBA	既設PBD經由撤去雨量計									10.2		1.2																		
3.	既設PBA	既設PBE經由撤去風向・風速計																							15.7						
4.	既設PBA	既設PBB		5.9													11.8														
5.	既設PBB	撤去温度計・湿度計		2.1	33.7				2.6								4.2	67.4				5.2									
小計			A	0.5	8.0	38.2		2.6		2.6	0.5	10.2	4.5	1.2	2.6		1.0	16.0	76.4		5.2		5.2	0.5	15.7	4.5		2.6			
補完率			B=(1+%/100)	1.00	1.05	1.05		1.05		1.05	1.00	1.05	1.05	1.05	1.05		1.00	1.05	1.05		1.05		1.05	1.00	1.05	1.05		1.05			
計			C=A×B	0.5	8.4	40.1		2.7		2.7	0.5	10.7	4.7	1.3	2.7		1.0	16.8	80.2		5.5		5.5	0.5	16.5	4.7		2.7			
設計数量			D	55.0 [m]						20.0 [m]						109.0 [m]						25.0 [m]									
歩掛	電工 E																														
	普通作業員 F																														
	G																														
工数	電工 E×C																														
	普通 F×C																														
	G×C																														

管内 ----- 露出管内、埋込管内、可とう管内 保護管内 ----- 保護管内配線 ポール内 ----- ポール内配線
 露出 ----- 露出配線 架空 ----- 架空配線 ピット ----- ピット配線 ラック・ダクト ----- ラック・ダクト配線 トラフ・ころがし ----- トラフ・ころがし配線

計

D. 拾い出し根拠表(1/1)

数量区分:(撤去)風向・風速計、雨量計、温度・湿度計

NO	配線区間		種別			施工方法	計 算							電線管 小 計	ケーブル 小 計	付属材 小 計				
	自	至	ケーブル	本数	電線管															
1.	観測装置	既設PBA	ケーブル	本数	電線管	端末余長												N :		
			CVVS1.25sq-8C	1		露出管内													WUG :	
			CVV2.0sq-2C	1		埋込管内														WBG :
						可とう管内														
						フリーアクセス		0.2				0.2	2.0	0.2					2.6	V :
						ラック・ダクト配線			3.4	1.1									4.5	I :
						地中	埋設管内													
2.	既設PBA	既設PBD経由 撤去雨量計	ケーブル	本数	電線管	端末余長												N :		
			CVV2.0sq-2C	1		露出管内			2.0								2.0			
						埋込管内														WUG :
						可とう管内		0.9	4.0		1.4	0.6	0.5	0.8					8.2	WBG :
						ポール内									1.2				1.2	V :
									地中	埋設管内										I :
3.	既設PBA	既設PBE経由 撤去風向・風速計	ケーブル	本数	電線管	端末余長												N :		
			CVVS1.25sq-8C	1		露出管内			2.0	4.6	1.1						7.7			
						埋込管内														WUG :
						可とう管内		0.9	4.0				0.3	0.8	2.0				8.0	WBG :
																			V :	
									地中	埋設管内										I :
4.	既設PBA	既設PBB	ケーブル	本数	電線管	端末余長												N :		
			CVVS1.25sq-4C	2		露出管内	1.6	4.3									5.9			
			CV3.5sq-2C	1		埋込管内													WUG :	
						可とう管内														WBG :
																			V :	
									地中	埋設管内										I :
5.	既設PBB	撤去温度計・湿度計	ケーブル	本数	電線管	端末余長												N :		
			CVVS1.25sq-4C	2		露出管内								1.3			1.3			
			CV3.5sq-2C	1		埋込管内													WUG :	
						可とう管内								0.5		0.3		0.8	WBG :	
						ラック・ダクト配線		8.0	1.8	16.1	6.3	1.5							33.7	V :
															2.6				2.6	I :
						地中	埋設管内									2.6				

[厚鋼,薄鋼,VE,HIVE] N:ノーマルベント、EC:エンランスキャップ、TC:ターミナルキャップ、LL:LL形ユニバーサル、LB:LB形ユニバーサル [金属製可とう管] WUG:ユニオンカップリング、WUB:ボックスコネクタ [合成樹脂可とう管] CC:コンビネーションカップリング、BC:コネクタ、AZ:厚鋼ジョイント、UZ:薄鋼ジョイント [FEP] CL:エフレックスクランプ、V:ヘルマウス、I:異種管接続材、BWC:防水キャップ、FSA:直線継手